

全旅連青年部×学観連
第3回若旦那・若女将密着体験プロジェクト
報告書

<目次>

- 1 第3回 若旦那・若女将密着体験プロジェクト実施概要
- 2 インターンシップ活動記録
- 3 宿泊プラン
- 4 インターンシップに参加して
- 5 総括
- 6 参考資料 インターンシップ参加者アンケート

1 第3回 若旦那・若女将密着体験プロジェクト実施概要

1. 主催者

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（全旅連）青年部 宿未来プロジェクト委員会
日本学生観光連盟（学観連）

2. 実施期間

平成 25 年 8 月 3 日（事前説明・勉強会）

『学校では学べない！旅館の若旦那！！本音のココロ教室！！』

～旅館においでよ！いつ来るの？今でしょ！！～

平成 25 年 8 月 11 日（学観連のみによる参加者事前顔合わせ）

平成 25 年 8 月 24 日～8 月 26 日（2泊3日 インターンシップ）

平成 25 年 8 月 29 日（学観連のみによる学生ミーティング）

平成 25 年 9 月 23 日（事後報告・意見交換会）

3. 実施概要

本事業は、旅館業における経営者密着型インターンシップであり、業務体験や各旅館の地域での取り組みなどを通し、旅館業の楽しさ、旅館業そのものを知る機会とする事業である。昨年度行われた「第二回 若旦那・若女将密着体験プロジェクト」に続く三回目の実施となる。今回も全旅連青年部の皆様の全面的なご協力のもと、栃木県・茨城県・埼玉県・千葉県・長野県・新潟県に所在する 8 つの旅館に学観連の学生 24 名を 3 日間にわたって受け入れて頂いた。

昨年度の実施で得られた改善点や、反省点を活かし今年度はより参加者に充実した体験となるよう事前説明会、インターンシップ、事後報告会の三部構成として事業を進めさせて頂いた。若旦那のスケジュールに合わせ、より経営者の仕事を間近で見られる内容となった。また昨年度に引き続いて業務体験に加え、それぞれの宿に合った宿泊プラン作成という課題をプログラムに組み込んだ。

4. 事業の目的

近年、旅館業界において優秀な人材の確保が難しい状況にあることを受け、経営者密着型インターンシップを通して若い世代に旅館の魅力を感じてもらい、まずは旅館業がどういった職業であるのかを知ってもらうことを目的としている。また日本独自の宿泊形態である旅館業を将来へと継承することも目的の一つである。

学観連としては、経営者密着型インターンシップへの参加を通して、普段はおもてなしを受ける側からおもてなしを提供する側に立った場合の視点を養う。また課題であった宿泊プランの作成を通し、地域や旅館の魅力を発見し、それぞれの強みを活か

したプランを考えだすという発想力の養成も目的に含まれている。

5. 実施までのスケジュール

- 2月 6日 全旅連青年部 宿未来プロジェクト委員会・学観連役員打ち合わせ
4月 26日 サポーター契約更新 調印式
6月 23日 参加希望者の公募開始（6月30日に定員に達し締め切り）
8月 3日 事前説明・勉強会
『学校では学べない！旅館の若旦那！！本音のココロ教室！！』
～旅館においでよ！いつ来るの？今でしょ！！～
（会場：「赤坂・溜池・虎の門・永田町会議室」）
8月 11日 学観連のみによる参加者事前顔合わせ
（会場：国立オリンピック記念青少年総合センター）
8月 24日～8月 26日 各旅館でのインターンシップ
8月 29日 学観連のみによる学生ミーティング
（会場：帝京平成大学 中野キャンパス）
9月 23日 事後報告・意見交換会（会場：川崎市産業振興会館）

6. 実習旅館と参加者の配属先

<目の温泉 奥湯沢 貝掛温泉>

- 渋谷 優希 （桜美林大学 3年）
太田原 友美 （立教大学 2年）
半沢 毅 （東海大学 2年）

<那須高原の宿 山水閣>

- 三戸部 優美 （明海大学 3年）
松下 美樹 （立教大学 1年）
和田 一真 （立教大学 1年）

<別所温泉 かしわや本店>

- 上田 裕太 （立教大学 2年）
中村 友紀子 （文教大学 2年）
松浦 郁美 （東海大学 2年）

<溪谷別庭 もちの木>

- *成澤 真依 （帝京大学 3年）
岡田 瑛美 （帝京平成大学 2年）
馬渡 愛子 （帝京平成大学 1年）

<日本四大美人の湯 源美の宿 会津屋>

小嶋 みなみ (明海大学 3年)
加賀谷 麻衣 (明海大学 3年)
山田 くるみ (帝京大学 1年)

<筑波山 江戸屋>

*大垣 拓也 (横浜商科大学 3年)
津田 杏子 (帝京平成大学 1年)
高橋 絵里 (帝京平成大学 1年)

<大自然の静寂と天然自噴温泉を愉しむ湯宿 亀山温泉ホテル>

*大川 周良 (立教大学 2年)
米山 亜樹穂 (東海大学 2年)
高松 桃子 (東海大学 2年)

<名栗温泉 大松閣>

*寺内 美里 (桜美林大学 3年)
陶 正恵 (明海大学 3年)
福田 美華 (帝京平成大学 1年)

※「*」の付いている参加者は、学観連役員。

2 インターンシップ活動記録

1. 共通プログラム

事前説明・勉強会『学校では学べない！旅館の若旦那！！本音のココロ教室！！』
～旅館においでよ！いつ来るの？今でしょ！！～ (平成25年8月3日(土))

事前説明会 9:30～16:00

開会の挨拶、主催代表・学観連代表挨拶、事業の趣旨説明、受け入れ施設紹介



<講演会・勉強会>

講演会①「売れるプランがどんどん出てくる『感性マーケティング』の法則論」
株式会社 オブリージュ 村橋克則 様

勉強会①「異業種からの転職・開業!!旅館の魅力」
貝掛温泉 長谷川智丈 様

勉強会②「どん底からの這い上がり、高級旅館へ」
山水閣 片岡孝夫 様

勉強会③「ゆきまろげ! 旅館から地域を変えた! まちづくり講話」(45分)
HATAGO 井仙 井口智裕 様

事後報告・意見交換会(平成 25 年 9 月 23 日(月))

事後報告会 13:00~17:00

- プラン発表会 (1) 貝掛温泉
(2) 筑波山江戸屋
(3) かしわや本店
(4) 亀山温泉ホテル
(5) 大松閣
(6) もちの木
(7) 会津屋
(8) 山水閣



意見交換会 (各テーブルにて、インターンシップを終えての感想や次回への要望等)



2. 旅館ごとの活動記録

【1】目の温泉 奥湯沢 貝掛温泉

1日目 (平成25年8月24日(土))	
記録担当者：立教大学 観光学部 2年 太田原 友美	
1 活動内容	
12:30 越後湯沢駅到着 HATAGO 井仙の見学 越後湯沢周辺の散策、田んぼ 湯沢名物へぎそばをごちそうになる	
15:15 駅の構内を散策	
16:00 貝掛温泉到着	
16:30 長谷川さんの弟さんのお話を聞く	
17:00 長谷川さんから今後の説明 その後各自入浴	
18:30 厨房の見学や、食器洗いの手伝い、布団敷きなどのお部屋準備、お風呂場の準備の手伝い	
20:00 食事	
20:45 長谷川さん、須藤さんとの対談	
23:00 学生ミーティング	
【感想】 井仙の見学もでき、貝掛だけでなく他のお宿の特徴や方針などを聞き、実際に見ることができて旅館の奥深さをかんじた。実際に若旦那と対談することで自分たちの旅館に対する知識の少なさを実感したのと同時に、若旦那の情熱や思いやりを感じ、自分たちのやりたいことを明確化することで素敵なインターンにすることができる環境を与られていると思った。	
2日目 (平成25年8月25日(日))	
記録担当者：桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 3年 渋谷 優希	
1 活動内容	
8:00 お客様の朝食風景見学	
9:00 朝ごはん	
9:30 チェックアウトを实践	
10:30 布団あげ、布団はがし实践	
11:00 宇津木さん(龍言) お話を聞く	
12:20 お昼休憩	
13:00 チェックイン風景をみる、实践	
14:00 同世代の社員さんに質問・お話	

15:00 長谷川さんとお話・質問など
16:00 休憩
16:35 夕食 SET
17:15 お仕事終了
19:30 夕食

【感想】

旅館業の接客や裏方の仕事を見学することや、実際に体験してみて大変さやお客様をいかに大切に思っているかが感じ取れました。私たちは一日のお仕事の中でもごく一部のことしか体験していませんが、これを忙しいときでも臨機応変にさまざまな仕事と並行して行っているのだと思うと、驚きました。人気旅館の宇津木さんや同世代の社員さん、若旦那と直接お話できる機会をいただき、質問やためになることを聞けて、自分たちの就活の悩みなども親身に相談にのっていただき、自信にもつながりました。明日が最後ですが、プラン作りのためにもこれからのためにも、質問忘れなどのないようしっかり最後まで取り組みたいです。

3 日目 (平成 25 年 8 月 26 日(月))

記録担当者：東海大学 観光学部 2 年 半沢 毅

1 活動内容

8:00 朝食
8:40 宿周辺探索
9:40 宿を出る
10:00 越後湯沢駅到着
11:04 駅出発
12:20 東京駅到着 解散

【感想】

この三日間で旅館の裏側や普段は見ることのできないところを多く見られてとても勉強になった。また、実際に同世代の人が働いているのを見て社会人としての意識の違いや経験の違いを実感し、改めて社会人と学生の違いや社会に出るときの姿勢などを学ぶことが出来た。この経験をこれからは生かしたいと思った。また、お世話になった分しっかりとプランを考えたいと思う。

【2】 那須高原の宿 山水閣

1 日目 (平成 25 年 8 月 24 日(土))

記録担当者：立教大学 観光学部 1 年 松下 美樹

1 活動内容

- 13:30 山水閣 到着
館内案内
- 14:30 座学 (6S についてなど)
- 17:00 スタッフさんに挨拶
着替え
- 18:00 夜食入れ
お作法の勉強 (姿勢や歩き方、ふすまの
開閉の方法など)
洗い場 (別邸の方の洗い場にて)
- 20:30 一日の振り返り
明日のスケジュール確認
- 21:00 終了
従食



【感想】

6Sにお作法と覚えることが多い一日だった。やる気に満ち溢れてきているから、「頭だけでも大きくなって帰ってほしい」と言って様々なことを教えていただけるのはありがたいな、と思う。学んだことは多くてここには書ききれないほどだけれど、今日学んだ基本をもとにこの3日間過ごしていきたい。宿題、頑張ろう。

2日目 (平成25年8月25日(日))

記録担当者：立教大学 観光学部 1年 和田 一真

1 活動内容

- 8:00 温泉朝市視察
- 10:30 戻り、着替え
- 11:00 清掃
- 13:30 昼食と休憩
- 15:00 午後業務の説明
- 15:30 ①出迎え ②ロビーでお茶の片付け ③配膳 に分かれて研修
- 17:30 夕食 ①サービス見学 ②パントリー ③洗い場 に分かれて研修
- 20:30 一日の振り返り、次の日のスケジュール確認
- 22:00頃 終了
- 22:30 バー体験

【感想】

今日はものすごく濃密な日だった。午前中の温泉朝市の視察では那須地域の観光について最前線で活躍されている方々とお話させていただき、正直なところ大学の授業の何倍も興味深く、参考になる貴重な時間を過ごしたと感じた。また、午後からの研修ではお客様を意識された従業員の方々の行動の早さや所作を間近で見ることができ、圧倒された。最後の一日の振り返りの時間に聞いた小黑さんの「会話の中に畏を



張る」というお話はわくわくするような感動を感じました。

3 日目 (平成 25 年 8 月 26 日(月))

記録担当者：明海大学 ホスピタリティ・ツーリズム学部 3 年 三戸部 優美

1 活動内容

- 8:00 玄関回り清掃
- 9:30 挨拶・着替え
- 10:00 プランと情報発信・観光講座
- 11:30 那須観光
PENNY LANEにて昼食
ビジターセンター
- 15:30 終了 お迎え



【感想】

私どもの希望する観光地に連れて行ってくださり、観光客と同じ目線で那須について知ることができました。移動時間などを含めると観光する時間はあまりありませんでしたが、夏の那須高原は涼しいので人気の理由が少しわかりました。

【3】別所温泉 かしわや本店

1 日目 (平成 25 年 8 月 24 日(土))

記録担当者：東海大学 観光学部 2 年 松浦 郁美

1 活動内容

- 12:00 かしわや本店 到着⇒昼食⇒自己紹介
- 14:00 旅行組合インターン生と顔合わせ
ミュージックギャラリー昼の部準備に参加
- 16:00 旅行組合インターン生と意見交換会・討論会
「観光地に何が必要なのか」
- 19:30 浴衣でミュージックギャラリー夜の部の準備
とイベントのお手伝い・片づけ
- 21:30 ミュージックギャラリー打ち上げ参加 (任意)
- 2:00 就寝



【感想】

別所周辺の地域の方や若旦那や他大学の学生と交流し、観光客の目線から観光地についての理解を深められた。打ち上げでは若旦那たちのエネルギッシュな様子がわかった。

2 日目 (平成 25 年 8 月 25 日(日))

記録担当者：文教大学 国際学部 2 年 中村 友紀子

1 活動内容	
8:30	着地型商品研究 (マレットゴルフ体験)
12:00	立ち寄り入浴施設 あいそめの湯 温泉・岩盤浴
13:30	昼食 コラボ食堂
18:00	ミュージックギャラリー (寄席) の手伝い・片付け
21:30	マレットゴルフ打ち上げ参加
3:00	就寝
<p>【感想】 着地型商品研究に参加することで地域の魅力を発見できた。打ち上げに参加することで地域の方々の交流状況がわかった。近隣の施設の魅力も感じ取ることができた。</p>	
	
3 日目 (平成 25 年 8 月 26 日(月))	
記録担当者：立教大学 観光学部 2 年 上田裕太	
1 活動内容	
8:30	プラン作成
12:00	昼食
13:00	プラン作成
15:30	終了
16:18	上田駅発
17:52	東京駅着
<p>【感想】 若旦那のプラン作成に対する熱い思いがわかった。旅館に対するビジョン、経営理念も感じ取れた。</p>	

【4】 溪谷別庭 もちの木

1 日目 (平成 25 年 8 月 24 日(土))	
記録担当者：帝京平成大学 現代ライフ学部 1 年 馬渡 愛子	
1 活動内容	
9:00	東京駅 銀の鈴 集合 点呼終了後・開催施設へ移動 (公共交通・送迎車にて)
12:00	昼食
12:50	旅館着
13:00	若旦那による館内案内
14:30	栗又の滝周辺見学

- 15:10 休憩
 (「おもてなしの心」のビデオ) ←旅館についての内容
- 16:30 旅館の方と自己紹介
- 16:40 アメニティーの袋詰め
- 18:00 お布団敷き
- 19:30 報告会 (活動報告・翌日の業務説明等)
- 20:00 夕食
- 21:30 入浴・プラン提案ミーティング

【感想】

今日は、6部屋の布団をひかせていただきました。布団をひくのにも決まりがあったりごみを捨ててくれている茶湯の裏にあるマークを同じ向きにしていたり、働いてみることで今まで気づかなかった事に気づくことができました。明日は実際にお客様と接したり様々な作業を行わせてもらうので良い経験になるといいなと思います。



2日目 (平成25年8月25日(日))

記録担当者：帝京平成大学 現代ライフ学部 2年 岡田 瑛美

1 活動内容

- 8:00 朝食
- 8:30 朝食片づけ (食器下げ、食器洗い、部屋の掃除機かけなど)
 夕食準備 (おぼん、箸などのセッティング)
- 10:30 朝礼
- 10:40 客室清掃 (布団上げ、清掃、セッティングなど)
- 12:00 昼食休憩
- 14:30 二部式に着替えてお出迎えのお手伝い (荷物運び)
- 16:30 夕食準備 (セッティング)
- 17:30 若旦那との報告会
- 19:00 夕食、亀山温泉ホテルとの交流会



【感想】

旅館業の1日を体験させていただきました。食事の片づけや準備から客室の清掃、お出迎えのお手伝いといった様々な仕事を研修させていただき、旅館の裏側を知ることができました。二部式を着て仕事をするという貴重な経験をさせていただけたことは、とても嬉しかったのと同時に仲居さんの大変さを改めて痛感しました。お客様と接する機会もあり、「形のあるものではなく、心の満足を提供する」という富澤社長の言葉の意味を実際に感じる事ができました。お客様に声をかけていただいた時は本当に嬉しく、モチベーションにつながりました。

3日目 (平成25年8月26日(月))	
記録担当者：帝京大学 経済学部 3年 成澤 真依	
1 活動内容	
8:00	朝食
8:30	朝食片づけ (食器下げ、食器洗い、部屋の掃除機かけなど) 夕食準備 (おぼん、箸などのセッティング)
10:30	朝礼 (宿泊客について注意事項などの確認)
10:40	客室清掃 (布団上げ、清掃、セッティングなど)
12:00	昼食休憩
14:30	施設見学ー滝見苑・ごりやくの湯 (滝見苑グループの見学) ー客室・大浴場
16:30	もちの木をの宿を出発 - 亀山温泉経由で東京駅に出発
18:30	道路が渋滞にはまった為、田町駅で解散
<p>【感想】</p> <p>本日は、3日目とあってか落ち着いて教えていただいた内容をこなすことが出来たかと思えます。3人がそれぞれの仕事(朝食の片づけ・夕食の準備・客室の清掃)を分担して担当し、行いました。午後からは、滝見苑グループである滝見苑様とごりやくの湯に連れて行っていただき、客室と大浴場を見学させていただきました。</p> <p>3日間はあっという間で最後の別れが名残惜しかったです。また、旅館の裏側を体験させていただいたことにより、将来の職として旅館で努めたいとますます強く思える実習でした。</p> <p>ぜひ、機会があればもちの木へと宿泊に来たいと思いました。</p>	

【5】日本四大美人の湯 源美の宿 会津屋

1日目 (平成25年8月24日(土))	
記録担当者：明海大学 ホスピタリティ・ツーリズム学部 3年 加賀谷 麻衣	
1 活動内容	
14:30	会津屋 到着 着替え
15:00	お客様のお出迎え 客室へ荷物運び 予約登録 事務業務(売店、フロント)
16:30	夕食準備 (食前酒、先付け、前菜、お造りを出す)
18:00	一回目のお客様 案内、夕食配膳



19:00 二回目のお客様 案内、夕食配膳
20:30 朝食準備(おぼん、おしぼり、箸、食器、お茶セッティング)
21:00 終了
支配人とミーティング

【感想】

旅館到着後、すぐに着替え、フロントに立ちました。従業員の方々みなさん明るく優しくサポートをしてくださったのでお客様の前に立つときは、すごく緊張しましたが乗り越えられました。笑顔は大切！お客様に気を使わず、リラックスしていただけるように旅館のことだけでなくその周辺の観光情報を交えた会話などができるるとより和やかになるのではないかと思います。

2日目 (平成 25 年 8 月 25 日(日))

記録担当者：帝京大学 経済学部 1年 山田 くるみ

1 活動内容

7:00 朝食準備 (お膳、お櫃、味噌汁を出す)
7:30 一回目のお客様 案内、朝食配膳
8:00 二回目のお客様 案内、朝食配膳
8:45 夕食準備 (おしぼり、箸、お茶セッティング)
9:20 お客様のお見送り
10:20 客室清掃 (拭き掃除、卓上セッティング、浴衣の帯整理)
12:00 休憩
16:00 お客様のお出迎え
客室へ荷物運び
17:00 夕食準備 (食前酒、先付、前菜、お造りを出す)
18:00 一回目のお客様 案内、夕食配膳
18:30 二回目のお客様 案内、夕食配膳
20:20 朝食準備 (おぼん、おしぼり、箸、食器、お茶セッティング)
20:45 終了
支配人とミーティング



【感想】

二日目は朝食の準備からということで起床時間も仕事を始める時間も早かったので大変でした。同じ食事の準備でもメニューや並び方が違うので戸惑うことが多かったです。客室清掃では卓上のメニューやお皿の位置や向きが細かく決まってお客様が見やすいように旅館側はいろいろ考えていることがわかりました。明日は最終日なので今日までの二日間で学んだことをしっかり実践していきたいです。

3日目 (平成 25 年 8 月 26 日(月))

記録担当者：明海大学 ホスピタリティ・ツーリズム学部 3年 小嶋 みなみ

1 活動内容	
6:30	朝食準備（お膳、お櫃、味噌汁を出す）
7:30	一回目のお客様 案内、朝食配膳
8:00	二回目のお客様 案内、朝食配膳
9:15	夕食準備（おしぼり、箸、お茶セッティング）
10:00	帰り支度
11:00	昼食 釜彦にてスープ入りやきそば
12:00	塩原温泉と周辺施設観光
15:00	塩原温泉出発
19:00	東京到着 解散
	
	<p>【感想】</p> <p>今日は最終日のため、1つ1つの仕事をこれで最後なのだと嘸み締めながら行いました。従業員の方々には本当に良くしていただいたので、お別れするのがとても寂しかったです。</p> <p>午後は塩原温泉の名所やお勧めスポットを全旅連の君島さんの運転で巡りました。旅館の中にいるだけではわからない塩原温泉の魅力を五感で満喫できたので、プラン作りの参考にしようと思いました。</p>

【6】筑波山江戸屋

1日目（平成25年8月24日（土））	
記録担当者：横浜商科大学 商学部 3年 大垣 拓也	
1 活動内容	
11:30	筑波山 江戸屋集合 昼食・着替えをし、自己紹介をした後、事務所へ
13:00	部屋の掃除、バスタオルの整理、階段のモップがけ お客様のお見送り
14:00	宴会場の掃除、地下の席替え。そして、若旦那からのお話
15:00	ミーティング
15:30	各自、夕食の準備
16:00	休憩、筑波山神社探索
17:00	津田はB1の配膳、2Fでのお出迎えと案内。配膳 大垣は部屋の準備をし、皿洗い。
22:00	業務終了後に夕ご飯
23:00	入浴、プラン提案ミーティング

【感想】

まず、実際にインターンシップに来てみて、働いている従業員の人たちが活気に満ちていると感じた。そして、仕事の内容は単純であるが、このような単純な作業が、お客様に快く過ごしてもらう為に大切なのだと実感した。また、旅館中でも様々な仕事があり、それを一人一人が確りこなしているという所や、他の仕事をしている人同士のつながりを感じれとれたので、とても良い体験が出来たと思う。他にも、筑波山神社を探索する事が出来たり、様々な人の話を聞いたのはとても良い経験になったと思います。

2 日目 (平成 25 年 8 月 25 日(日))

記録担当者：帝京平成大学 現代ライフ学部 1 年 津田 杏子

1 活動内容

- 5:00 起床、事務所にて業務の今日の確認
女子は板場で洗い物、男子は宴会場で朝食の準備
- 6:00 女子も宴会場へ合流して、お客様の対応や片付けを手伝う。(助番)
- 9:30 朝食ラッシュが終わったので、片付けと掃除をしてから、休憩と朝ご飯
- 10:00 お風呂、トイレ、廊下等の、共通場所の掃除
- 12:30 お昼ごはん
- 13:00 休憩
- 16:00 祭りつくばへ参加。祭りつくばでねぶたの曳手になり祭りを体験させて頂く
- 21:20 宿へ帰る
- 22:00 宿で、フロント主任の関本さんにプランについてアドバイスをいただく。
- 23:00 お風呂そして就寝

【感想】

二日目は朝の助晩を体験させて頂き、午後からは近隣のつくばで行われている「まつりつくば」でのねぶたの曳手を体験させて頂いた。とても有意義な時間であった。

3 日目 (平成 25 年 8 月 26 日(月))

記録担当者：帝京平成大学 現代ライフ学部 1 年 高橋 絵里

1 活動内容

- 5:00 起床
- 5:15 朝食助番
- 10:00 終了

【感想】

内容は、二日目やった事をやっていた。
一度やった事なので、二日目以上に働いている気持ちに慣れた、もう少しここで働きたいと考える事も出来て、とても素晴らしい三日間を提供して下さった江戸屋のみなさまに感謝の気持ちをもって江戸屋を後にした。若旦那さまがお土産をくださって申し訳ない気持ちでいっぱいになった。

【7】大自然の静寂と天然自噴温泉を愉しむ湯宿 亀山温泉ホテル

1日目 (平成25年8月24日(土))	
記録担当者：東海大学 観光学部 2年 高松 桃子	
1 活動内容	
8:40	東京駅集合
12:30	昼食休憩
13:30	亀山温泉ホテル到着 自己紹介、オリエンテーション、仕事説明
15:00	フロント業務 お出迎え業務、ご案内業務
18:00	配膳業務、お布団敷
20:00	業務終了後、夕食
20:20	プラン作成の話し合い
21:50	入浴、自由時間
	
	<p>【感想】</p> <p>業務そのものに携わる機会はありませんでしたが、お客様のお出迎えをすることで若旦那が普段どのようにお客様と接しているのか、子供たちに対してどのように相手をしているのかを学ぶことができました。また、地域との関わり合い方の考え方を聞くことができ良かったです。</p>
2日目 (平成25年8月25日(日))	
記録担当者：東海大学 観光学部 2年 米山 亜樹穂	
1 活動内容	
6:45	散歩
7:30	朝食手伝い
8:30	朝食
9:00	フロントお見送り
10:30	館内清掃 (客室・浴場)
13:00	昼食休憩
14:00	宿泊プラン作成
15:00	お出迎え・ご案内・盛り付け作業
18:00	夕食手伝い・布団敷き
19:00	業務終了
20:00	養老温泉旅館組合との合同懇親会
22:30	一日の振り返り
	

【感想】	
一日を通して従業員の方と業務をして、従業員の方の要領の良さを実感しました。旅館という仕事場では、時間に追われて作業しなくてはいけないので要領の良さはとても重要だと感じました。また若旦那の亀山温泉ホテルに対する将来の展望についても聞くことができ、自分たちが同じ立場に立ったら…とも考えさせられました。	
3日目 (平成25年8月26日(月))	
記録担当者：立教大学 観光学部 2年 大川 周良	
1 活動内容	
7:15	打ち合わせ
7:30	朝食の手伝い、盛り付け、配膳、片付け
8:30	朝食
9:00	フロントお見送り
10:30	館内清掃 (フロントロビー、大浴場、客室)
11:50	蔵元へのお酒の買い出し
13:30	昼食
14:00	周辺観光 (道の駅など)
15:30	プラン話し合い・研修のまとめ
16:20	東京へ向け出発
18:25	町田駅に到着
【感想】	
今日は二日目よりも館内清掃のコツを少しつかめたような気がした。しかしすべてを手際よくこなすベテラン従業員の方々のチームワークの良さには改めて感銘を受けた。また、旅館の地域との関わりを学ぶためにお酒の買い出しに同行させていただき、自ら地域に足を運んで情報を得ることが「地域を自らの力にする」ということの理にかなった形なのだと学んだ。	



【8】名栗温泉 大松閣

1日目 (平成25年8月24日(土))	
記録担当者：桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 3年 寺内 美里	
1 活動内容	
12:30	到着 顔合わせ 自己紹介、3日間の予定について
13:00	昼食

14:00	名栗温泉観光			
16:00	陶	福田	寺内	
	〈厨房〉 盛り付け	〈フロント〉 お客様お出迎え	〈厨房〉 配膳	
	館内見学			
18:00	夕食			
19:00	〈厨房〉 盛り付け	〈フロント〉 ウェルカムドリンク出し	〈厨房〉 料理用飾り準備	
	〈客室〉 布団敷き	〈宴会場〉 ・夕食片付け ・朝食準備	〈客室〉 布団敷き	
	〈宴会場〉 ・清掃 ・朝食準備		〈宴会場〉 朝食準備	
22:00	反省会 感想、明日の予定について			
22:20	入浴			
23:00	ミーティング			
24:00	就寝			
<p>【感想】 1日を通し、旅館での実習はもちろん名栗観光もさせていただき、まずは大松閣や名栗の地域全体がいったいどのような場所なのか知ることができた。プランに活かしたいキーワードも多く得ることができたので良かった。また、初日ということで緊張や不安があったが若旦那や若女将、従業員の方々、さらには地域の方との会話を通し、地元の方の暖かさに触れられたため自然と名栗の環境に溶け込むことができた。</p>				
2日目 (平成25年8月25日(日))				
記録担当者：帝京平成大学 現代ライフ学部 2年 福田 美華				
1 活動内容				
6:30	起床			
7:50	本日の日程確認			

8:00	陶	福田	寺内
	〈フロント〉 ・チェックアウト	〈宴会場〉 ・お客様お出迎え ・スリッパ揃え ・朝食片づけ	〈宴会場〉 ・お味噌汁準備 ・お茶出し ・朝食片づけ ・清掃
9:00		〈山の茶屋(別館レストラン)〉	〈客室〉
10:30	〈客室〉 ・布団あげ ・お部屋の清掃	・盛り付け ・調理補助 ・食器洗浄	・布団あげ ・お部屋の清掃
12:00	昼食		昼食
14:00	〈フロント〉 ・チェックイン ・ラウンジドリンクサービス ・レジ	昼食、空き時間 	空き時間
16:00		〈厨房〉	〈厨房〉
17:45	休憩	盛り付け	盛り付け 〈宴会場〉 会場準備
18:00	夕食		
18:45	〈フロント〉	夕食片付け	
19:00	ラウンジ食器洗い 〈大浴場〉 清掃 〈客室〉 布団敷き	〈厨房〉 盛り付け 〈客室〉 布団敷き	〈厨房〉 盛り付け 〈客室〉 布団敷き 〈フロント〉 フロント待機
21:00	〈宴会場〉 朝食準備	休憩	〈宴会場〉 ・朝食準備 ・清掃
22:00	反省会 感想、明日の予定について、記念撮影		
23:00	入浴		
24:00	ミーティング		

26:00	就寝
<p>【感想】 旅館の方々が本当に優しくて自然と楽しくなったり、モチベーションがあがった。お客様をおもてなしすることも大事だが働く環境や自分のモチベーションによってお客様への対応が変わってきてはいけないので、気持ちの持ちようもとても大切だと思った。</p>	
3日目 (平成25年8月26日(月))	
記録担当者：明海大学 3年 陶正恵	
1 活動内容	
5:00	起床
6:20	大松閣発
	
9:00	東京ディズニーシー着 特別研修 講師：有限会社 加賀谷感動ストアマネージメント 加賀谷 克美様
20:00	研修終了 現地解散
<p>【感想】 ディズニーランドのおもてなしについて学んだ。“お客様にハピネスを” その名の通り、いたる所に隠れミッキーやお客様を楽しませる工夫がされていた。失敗から学ぶが成功からも学ぶ。これこそが、常に発展を続けリピーターを増やす秘訣なのかもしれない。</p>	

3 宿泊プラン案の報告

【1】目の温泉 奥湯沢 貝掛温泉

プラン名	秘湯で言おう お父さんありがとう プラン
ターゲット	40代、50代で親孝行をしたいと考えている方
価格	お部屋代 16,950円+お酒代、写真代5,000円=21,950円
泊数	一泊二日
販売期間	土曜・休日前

プランの概要

【キャッチコピー】

そろそろ親孝行しませんか？

最後に父親と腹を割って話したのはいつですか？

反抗期から早30年 都会を離れ、この貝掛温泉のお風呂で語って部屋で語って
父親に感謝の気持ちを伝えてみませんか？

親子の愛(eye)を確かめよう！～今更ながらありがとう～

【プラン内容】

一日目

14:00 チェックイン

15:00 おふろ（貝掛の特徴☆目の温泉ゆっくり浸かってもらう）

16:30 ぶらり散歩

17:30 部屋で夕食

18:30 おふろ2（お風呂でお酒を飲む）

お風呂あがりにメッセージ付きお酒のプレゼント（お部屋にセット）

親子で記念撮影

二日目

7:30 起床

8:30 朝ごはん

ゆっくりしてもらう

東京まで新幹線で約1時間なので移動も疲れない！！

【2】那須高原の宿 山水閣

プラン名	お父さんお母さんに伝える感謝の気持ち ～何気ない一日を記念日に～
ターゲット	20～50代の子ども側（リピーターの方も含む）
価格	20,000円から
泊数	一泊二日
販売期間	通年

プランの概要

【キャッチコピー】

癒しの空間の中お酒を飲みながら 静かに語り合う夜を迎える
すると自然と話は過去・現在…そして未来へ。

今まで「ありがとう」そしてこれからもずっと一緒に・・・新たな記念日作りませんか？

【ターゲット決定の背景】

両親への感謝を述べる&両親へのプレゼントという意味を込め子ども側に設定

【プラン作成の背景】

記念日を「祝う」ではなく「つくる」。

山水閣の良さを知っているリピーターのお客様にも選んでいただける目新しさ！！

そして山水閣を知っている人にこそ選んでほしい。山水閣だからできるプラン。

【特典】

① 12時チェックアウト

② 記念酒

③ 記念写真

(後日配送・コメントつき)

⇒親子水入らずで過ごせる空間もあり、お客様ひとりひとりに合ったサービスが提供できる山水閣だからこそ、このプラン。

【3】別所温泉 かしわや本店

プラン名	初任給で親孝行1泊2日サンキュープラン
ターゲット	<ul style="list-style-type: none">・内定が出た後から入社1年目まで、男女問わず、核家族、一人っ子、首都圏生まれ首都圏在住。・家族と同居している、していたが就職を機会に独立(予定)趣味に旅行がなく、旅行頻度はほぼゼロ。・高校に上がる前後に家族旅行をしたのが最後。・情報感度は低いが、FB等のSNSは頻繁に見ており、新規の情報入手方法はネット
価格	3人で9万円
泊数	一泊二日
販売期間	通年

プランの概要

【キャッチコピー】

日頃の感謝を旅行で伝えよう。あなたの想い、実現させませんか

【販売時のリード文】

一生に一度の貴重な初任給。
社会人となった今、両親に家族旅行をプレゼントして日頃の感謝の気持ちを伝えませんか。四季の移ろいを感じられる高級旅館で大切な家族との特別なひと時をお過ごしください。

【プランに活かせる宿・地域の強み】

地域で一番の小規模高級旅館のイメージ

ゆとりのある客室

宿の歴史

露天風呂付客室がたくさんある

北向観音のすぐ隣

※地域の強みとして：東京からのアクセスの良さ

新幹線の停まる駅がある

別所温泉まで走るローカル電車

【プラン内容】

予約完了時に招待状郵送

露天風呂付きのゆとりある部屋

色浴衣を着て家族で記念撮影

帰り際に日付入り記念写真（額入り）をプレゼント

かしわや本店内ではキャッシュレスで買い物。後払い。

（苔玉づくり体験、甘味処かしわや）

注意点：一日一組限定

家族水入らずの時間を楽しんでもらうため過度な接客はしない

（料理を大皿で出すなどの工夫を。）

【4】 溪谷別庭 もちの木

プラン名	全館貸切！自然の中で仲間とリフレッシュ忘年会プラン
ターゲット	都心から近く、貸切ができるお宿を探す幹事様
価格	15,000円から
泊数	一泊二日
販売期間	11月～12月（忘年会シーズン）

プランの概要

【キャッチコピー】

自然に囲まれた別庭で一年の疲れを癒し新年の幸せを願いませんか？

【リード文】

都会から少し離れるとそこには別世界があった…
房総の恵みと3つのコースで日頃の忙しさを忘れさせます。
一年の終わりを仲間と共に疲れを癒し、更なる親睦を

【プラン内容】

1日目

15:00 旅館 到着

↓

温泉

↓

宴会 スタート

各部屋で2次会（各部屋にお酒とおつまみをご用意）

2日目（3つのコースから選択）

〈ゴルフコース〉

勝浦パークゴルフ場（もちの木から約40分）

*1 プラン価格から+800円でご利用が出来ます

*2 20名様以上で無料送迎

〈湯めぐりコース〉

無料で入湯

① 溪谷別庭 もちの木

② 秘湯の宿 滝見苑

③ 滝見苑けんこう村 ごりやくの湯

〈ハイキングコース〉

仕事ばかりで最近運動不足の方、お腹まわりが気になってきたという方におすすめの「ハイキングコース」。もちの木の魅力のひとつである千葉いちの大自然を楽しんでいただけます。ハイキングコースもいくつか用意し、お客様の希望に沿ったコースをお薦めします。耳を澄ますと聞こえてくる川のせせらぎ、鳥や虫の音でお客様の心を癒していただくというコースです。

【5】日本四大美人の湯 源美の宿 会津屋

プラン名	清白-Suzushiro-
ターゲット	美肌や美容を気にしている女性のお客様（OL）

	<p>【一人のターゲット像として】</p> <p>佐藤恵美さん(26) OL 千葉出身</p> <p>家族：父、母、姉</p> <p>性格：控えめ、良いと思えば我が道を行く 新しいもの好き</p> <p>悩み：冷え性、仕事のストレス、肌荒れ</p> <p>芸能人でいうと・・・香椎由宇</p>
価 格	お一人様 15,000 円から
泊 数	一泊二日
販売期間	冬限定

プランの概要	
	<p>【ターゲット決定の背景】</p> <p>現状として家族、友人同士、カップルと幅広いジャンルの女性に利用されている。 「美肌美人の湯」が一番のセールスポイント</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>美肌美人の湯+期間限定の美容 ⇒女性の集客さらにUP!</p> <p>【プラン内容】</p> <p>冬限定のレディースプラン</p> <p>食べるだけでなく、様々なかたちで塩原大根を取り入れる</p> <p>大根はビタミン、ミネラルが豊富</p> <p>冷え性、肌荒れ、肩こり解消など女性に嬉しい効果がある</p> <p>【塩原大根】</p> <p>塩原では秋～冬にかけて甘くみずみずしい大根が多く収穫される</p> <p>【清白プラン7大特典】</p> <p>①大根肩こりパック</p> <p style="padding-left: 20px;">*事前のパッチテストで肌トラブルを回避</p> <p style="padding-left: 20px;">お肌に合わない方はフット・ハンドケアに変更可</p> <p>②塩原大根で食す郡司豚のしゃぶしゃぶ</p> <p style="padding-left: 20px;">*大根をお客様自身ですりおろして食べる</p> <p>③大根湯</p> <p style="padding-left: 20px;">*大根をまるごと露天風呂に浮かべる</p> <p>④Welcome 大根</p>

*ロビーでお出迎えする湯気のものぼったあったか大根おでん
ウェルカムドリンクのかわりに。

⑤アロマキャンドル

*お好きな香りを選んだら、お部屋で自分だけのリラックスタイム♪

⑥美人の湯シートマスク

*固形のシートマスクに源泉を染み込ませてお手軽マスクに。

⑦ヘアアイロン貸し出し

*2名様まで貸し出し可

★その他

お好み枕(3種)・浴衣・アメニティーセット

【6】筑波山 江戸屋

プラン名	山ガール必見！色浴衣・美容セット付き山登りプラン
ターゲット	20～30代女性、3～4人のグループ、首都圏在住 山登りが趣味か、興味がある人、リフレッシュしたい人 土日休みのOL、縁結びをしたい人
価格	15,000円から
泊数	1泊2食
販売期間	春から秋

プランの概要

【キャッチコピー】

縁結びスポット筑波山で山ガールデビュー！旅の最後はつくばで。

【リード文】

宿から歩いて5分ほどにある筑波山神社で恋のお参り。筑波山に登って頂上から茨城の景色を一望してみませんか？登山で疲れたカラダを江戸屋の温泉に浸かってリフレッシュしましょう！

【プランに活用できる旅館の強み】

歴史がある。

女性スタッフが多い。

アットホーム。
雰囲気落ち着いている。
山の中なのに、バス等があるため行きやすい。
広々とした和洋室もある。(室内にお風呂付き)
歩いてすぐの所に筑波山神社がある。
自然豊かで季節折々の風景が楽しめる。

【プラン背景】

- ・ファミリー層をねらったプランが多いため、女性グループ向けのプランの一つとして、このプランを考えた。既に有るものに多少の付加価値を付けた。
- ・江戸屋には女性スタッフの方が多いので、女性のお客様が安心してくつろげる場所になり得る。
- ・つくば駅からバスを使って来られる為、アクセスも良く、首都圏在住の方をターゲットにした。

【プラン内容】

色浴衣貸し出し
ケーブルカー割引券付き
化粧品として使えるガマの油の付き
マッサージグッズ貸し出し
お部屋は広々とした和洋室
筑波山スイーツをプレゼント

【1日目】

11:00 筑波駅着
11:40 頃 江戸屋着 荷物預けて筑波山へ
15:00 江戸屋に戻る
チェックイン色浴衣選んで部屋へ
16:00 浴衣を館内散策
自由時間
くつろぐ、お土産、足湯、読書 e t c …
(春夏秋冬にあわせて、様々な楽しみ方ができる)
19:00 晩ご飯
21:00 お風呂
22:00 就寝

【2日目】

7:30 起床
8:00 朝ご飯
10:00 チェックアウト

	バス停に行く前に筑波山神社でお参り
11:10	つくば駅周辺 (いろいろなお店でショッピング。)
12:30	お昼のランチ (つくば駅の近くのレストラン等)
13:30	つくば駅周遊
15:30	つくばエクスプレス (TX) 乗車
17:00	帰宅

【7】大自然の静寂と天然自噴温泉を愉しむ湯宿 亀山温泉ホテル

プラン名	【三世代プラン】四季の料理とイベントで家族の絆を深めましょうプラン
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ・都内や東京寄りの埼玉などの自然の少ない都市部に在住 ・マンション暮らし ・父、母、子供2人と祖父母 ・お盆、年末年始には祖父母のいる関東近県に里帰りする ⇒三世代そろってどこかに旅行することがなかなか出来ていない
価格	12,000円から
泊数	一泊二日
販売期間	通年 (四季に合わせて特典を変更)

プランの概要	
<p>【キャッチコピー】 「都会の喧騒を離れ、なかなか揃わない三世代家族でチョコレート色の美肌の湯につかりませんか？」</p> <p>【プランに活用できる宿の強み】 100%源泉かけ流しのチョコレート色の美肌の湯 亀山湖畔に位置し、大自然に囲まれている 20畳の部屋を2部屋、27畳の部屋を1部屋持っているため、大人数での宿泊に対応 若旦那の気さくさ&チビ旦那の可愛らしさが生み出すアットホームな雰囲気 子供に喜んでもらえるようなサプライズ・特典がたくさん！</p> <p>【プラン内容】 部屋：20畳の和室特別室 人数：5名から</p>	

【季節ごとの体験・イベント特典】

春： 田植え体験、イチゴ狩り、鯉のぼり作りなど

夏： 昆虫図鑑作り、カブトムシ王者決定戦など

秋： 紅葉狩り、葉作り、新米の収穫体験、ハイキング、サイクリングなど

冬：こたつ、みかん、はんでんを用意、天体観測（雨天時はプラネタリウム作り）など

【通年プラン特典】

お仕事体験

⇒お仕事リストを宿側で作成し、お客様のお子様がお仕事体験を行ったら報酬にコインを渡してそれによってお菓子やワンドリンク無料などのご褒美がもらえるというもの。

【サプライズ特典】

- ・アルバム作成
- ・メッセージ船盛り
- ・お酒のラベルを家族写真に
- ・娘と母で行くマッサージ

【8】名栗温泉 大松閣

プラン名	おじいちゃん、おばあちゃん ありがとう プラン
ターゲット	親子三世代（子供は小学生以下）
価格	20,000 円前後
泊数	1泊二日
販売期間	通年可能

プランの概要

三世代家族に第二のふるさと大松閣で家族団欒のひと時を過ごしていただきながら日頃なかなか言えない感謝の気持ちを伝えていただく。

1日2組限定で、ご家族のハートフルなひと時を演出する5大特典付き！

【モデルプラン】

1日目

11:00 チェックイン ウェルカムドリンク
記念撮影

12:00 昼食

15:00 貸切風呂 (50分)

|

15:50 館内でのんびり

18:00 夕食

2日目

8:00 朝食

11:00 チェックアウト

【豪華5大特典】

1:専用ラウンジをご提供

2:家族みんなで記念撮影

3:別館レストラン「山の茶屋」での昼食付き

4:貸切風呂 50分間無料

5:1日の最後を締めくくるサプライズ満載のご夕食

(会席料理+メッセージプレート付きケーキ+若女将の歌+花束&手紙贈呈)

4 インターンシップに参加して

【1】 目の温泉 奥湯沢 貝掛温泉

● 桜美林大学3年 渋谷優希

今回私がこのインターンシップを通して感じたことは、進んで行動して、さまざまな人と話をすることで自分の視野が広がっていくことの大切さを学べたいい機会だったということです。そして、若旦那・若女将体験プロジェクトで貝掛温泉に行けたこと、短い間でしたが長谷川さんといろいろなお話ができたことを誇りに思っています。若旦那・若女将体験プロジェクトと聞いて、最初は1日中旅館業の仕事をそっくりそのまま行動するものなのかと思っていましたが、実際に旅館に着いて、少しお仕事を見学しただけでもとてもすぐには習得できない仕事内容であるという印象を受けました。しかし、旅館で働く方々は、大変なことを全く顔に出さず、「お客様のために」という思いで気持ち良く働いていて、そのようなところに貝掛温泉の魅力があるのだと感じました。

また、今回のインターンシップが貝掛温泉で良かったと思う点として、長谷川さんを始めみなさんが親身にお話をして下さったことです。きっとこれは参加旅館の中でも貝掛温泉だけが、この貴重な時間を作ってくださったと思うのですが、旅館業に関してのことはもちろん、私達の将来、また就職活動について私たちの相談に乗ってくださったり、成功している旅館の経営者の方がとてもためになるお話をしてください

ました。そのお話のなかでも印象に残っていることは、「自分にしかないものを発見し、それを磨きあげていく」ということの大切さについてです。時代の流れに合わせたものよりも、独自のものの方がずっと価値が高い、というもので就活においても参考になると思いました。また、旅館で働く同世代の女の子との面談の場を設けてくださり、そこでは旅館、お仕事についてのお話をより親近感を持って聞くことができました。年は変わらないのに、私達より大人な考えを持っていて、驚きました。お仕事を実際に体験したり、いろんな方からお話やアドバイスをいただいたり、貝掛温泉に浸かったりおいしいお料理をいただいたりして魅力をたくさん発見できたので、いい思い出だけで終わらせず、今後の就活やそのあとにおいてもこのことを忘れずに頑張っていきたいと思いました。

● 立教大学2年 太田原友美

インターンに参加してみて、旅館業について何も知らなかったことに気づかされました。旅館業を体験したいと思ってはいても、実際に旅館の方々がどのようなことをしているのか理解していないため、体験してみたいことを具体化することに苦戦しました。若旦那と話していて、ただ旅館の仕事を体験させるだけではなく、私達の今後に生かせるような経験させるために、一生懸命考えていただいていることを痛感しました。相手が何をしたら喜ぶかを考える、おもてなしの心を感じました。だからこそ、長谷川さんの気持ちに答えきれない自分が歯がゆかったです。

実際に旅館の方々とお話し、仕事の様子を見る中でおもてなしの心を改めて感じることができました。ロビーにいと、お客様と会話をしている姿を何度も見ました。このお客様との距離があるからこそ、お客様が「いや～素晴らしいね。ありがとう。」というような言葉を言いたくなるのだと思いました。さらに、皆さんでグアム旅行に行った時の写真や、社長直々に書かれたシフト表があり、旅館で働く皆さんが本当にまとまっているからこそ、無意識のうちに質の良いおもてなしを提供できているのだと思いました。若女将が、社員さんに少しでも快適な環境でお仕事をして満足してもらわなければお客様を満足させることはできないと言っていました。この言葉には大変納得しました。

たくさんの方のお話を聞くことで、将来を決定する上でもっといろんなことを知る必要があることが分かりました。お客様のニーズを見つけ出すことの大切さ、常に主語がお客様であるべきということは、どの職業にも繋がっています。自分のブランドを見つけてこの旅館の方々のようにやりがいを感じられるような職業を見つけたいと思いました。今回のインターンでは、書ききれないほどのことを学ばせてもらうことができました。このような機会を与えてくださって本当にありがとうございました。

● 東海大学2年 半沢 毅

私は今回、新潟県にある貝掛温泉に研修に行った。現地に着くとまず、魚沼産のコシヒカリの田んぼを見学させてもらい見学が終わるとへぎそばをごちそうになった。越後湯沢駅周辺の見学が終わると貝掛温泉へ向かった。貝掛温泉では、様々な体験をすることが出来た。客室作りでは、しわを付けずに布団を敷いたり、トイレの清掃、灰皿や水などの入れ替えなどお客様がいない間のわずかな時間の中で一つのミスもなくやっており、常に完璧で当たり前のことを当たり前のようにやることを心掛けているという言葉が印象に残った。またフロント業務も体験させてもらい、お客様のお見送りの際は見えなくなるまで見送ったり、フロントの中では常にお客様を観察しお名前や特徴、持ち物などを覚えるように心がけていて、もし忘れ物があった場合はどのお客様のものかを荷物を見ただけで分かるようにしなくてはいけないというお話を聞きとても勉強になった。その他、夕飯の準備の手伝いや厨房の見学等隅々まで見て体験することが出来た。旅館業務のほかに実際に社会人として働いている方々のお話も聞くことが出来た。その中で特に印象に残っているのは、社会人になったら結果を出さなくてはいけないという言葉である。社会に出たら自分にしかできないことを徹底的にやることが重要であるが、そのためにどんなに努力しても結果が出なければ社会では認められない。社会人として認めてもらうには過程ではなく結果が必要であるというお話を聞き、学生の間は努力してきた過程を評価してもらえるが、社会では通用しないということを学生の間知れたことはとても良い経験になった。

この三日間で貴重な体験をさせてもらったが反省することがいくつかあった。私は二日目の朝に寝坊をしてしまい若旦那やメンバーに大きな迷惑をかけてしまった。時間を守ることは人として当たり前の行為であり、研修をさせてもらっている立場であるのにとっても失礼なことをしてしまったととても反省している。また、研修中にとっても貴重なお話をしてもらっているのに、あまりメモを取らずにお話に集中してしまっていた。これらの行為は社会人になったら出来て当たり前であるが、その当たり前のことが出来なかった自分がとても情けなく感じた。もしこの研修を経験せずに社会に出たら社会人として認めてもらうことは出来なかったと思う。

この三日間で、旅館とは何かを理解できたし社会人と学生の差を痛感できたので絶対に自分の中でこの経験がプラスになっているし、経験値も大きく増えたと思う。また、若旦那・従業員の方々が本当に優しく親切にいただいたので充実した三日間になった。

【2】那須高原の宿 山水閣

● 明海大学3年 三戸部優美

那須高原の宿 山水閣にてインターンシップに参加し、とても貴重な時間を過ごさせていただきました。

那須の観光については那須町観光協会プロモーション推進室ディレクターの猪口さんからお話を伺うお時間を設けて頂いたり、私どもが実際に朝市に足を運ぶことによって那須町全体が那須観光を盛り上げようとしているように感じました。

山水閣の前を通られた車には例え他の旅館に宿泊をするお客様にも那須の顔として一礼する、と教えていただきこのようなところからも次回那須に訪れる際は山水閣に泊まりたい。と欲していただけではないかと思えます。

山水閣の接客は心理戦のようにお客様一人一人に合わせた接客で、お客様との会話からお客様の好みを推測したりサプライズをして楽しんでいただける空間も演出されていました。また、お客様の質問には的確に答えることはもちろんですが、プラスの知識や、耳寄りな情報を提供して話弾んでいたのも私ども今後そのようなコミュニケーションをとりながら接客できればいいと思えます。そのためには、百聞は一見にしかずとゆう諺がある通り観光スポットに自らの足で訪れて散策することによってお客様に自分自身が体験したことをお話しできるのだと思えました。

お客様が他のお部屋で夕飯を召し上がっている際には上座は通らないようにコップを片づけたり、お客様が机の上に置いたものは台を拭いても同じ向きでセットするなど、実際に泊まっている方には見えないところでもこのように快適に過ごせるように工夫されていました。

今回のインターンシップで、おもてなしとはお客様とのコミュニケーションだけではなく働くスタッフ側の信頼関係がお客様への安心感やおもてなしに繋がっているのだと思えました。また、スタッフ一人一人の立ち居振る舞いやコミュニケーション能力が高く、心豊かなスタッフの連携があるからこそ一流のおもてなしができるのだと感じました。

● 立教大学1年 松下美樹

私は、山水閣さんで三日間学ばせていただいた。この三日間は、目の前にあることを一つ一つ成し遂げていくことに精いっぱい、無我夢中とはこういうことかもしれない、と思わせられた。しかし、とても充実した日々だった。まだ、すべてをきちんと整理できたわけではないが、今回の研修で特に心に残ったことについて考えていきたい。

初日に行われた座学では、多くのことを学んだ。その中で、お客様と私たちは反面鏡なのだという教えが印象に残っている。また、スタッフを通してお客様は宿を知るから、気取ったりしてその鏡をゆがめてはいけない、自然体でいることが大切なのだ、ということも印象に残っている。しかし、いくら自然体といえども、基本を知っていなければ、基本を超えたことは何もできない。まずは知って、解って、行って、できるようになって、分かち合っていくことが大切だと教わった。

次に、二日目に温泉朝市でお話を聞いた中で、観光とは何か、という質問に対し答えていただいた「あなたの日常は私の非日常。私の日常はあなたの非日常。」という言葉が心に残っている。この言葉は私の中にストーンと落ちてきた言葉だ。観光学として学んでいくと、成功例の型に当てはめて産業を作ろうとしてしまうかもしれない。けれど本当に必要なことは、遠くを見ることではなく、今の自らの位置を見つめなおして深く掘り下げて、その中から光るものを探していくことなのだと思います。

まだまだ、自らの道や「観光」については分からないことだらけだが、今回教わった考え方や作法など忘れずに守っていきたい。「思考は言葉になり、言葉は行動になり、行動は習慣になり、習慣は性格になり、性格はいつか運命になる。」今回学んだことすべてを私の運命にしていきたい。

● 立教大学1年 和田一眞

今回のインターンで感じたことはこういう人たちみたいに生きてみたいということでした。

二日目の朝市視察、そして片岡社長のお話を聞いているとき、従業員の方々がきびきびと行動しつつも楽しそうな現場を見たとき、自分は特に感じました。自分は学生という社会人のほんの一步手前である存在として山水閣、そして那須の観光に携わっている方々とわずかな時間ではありましたがお話をさせていただくことができ、そこにかかる思いを聞き、かっこいいな、そしてこの人たちと仕事ができれば楽しいのだろうなと思いました。また那須のこと、山水閣のことが好きなのだろうなと伝わってきました。

朝市視察の際にはまさしく観光の最前線の貴重なお話をきくことができました。僕は将来長野県の観光業に関わって生きていきたいと考えており、この那須高原の環境は信州と似通った素材がたくさんあり、非常に参考になるお話でした。大学の授業では片岡社長のいうように数字を中心に考えられているものが多いですが、今回は生きたお話であり、このお話をまだ1年の今の時期から知ることができたのはほかの同級生と比べても大きなリードになってくると確信していますが、それも大学で経験をフィードバックさせなければ意味がありませんので無駄にさせないように日々頑張っていきたいと思います。

最後に、「自分たちにとっての日常は、観光客にとっての非日常である。観光とはいかにそれを感じてもらおうかということ。」とても印象的な言葉もいただき、これは4年間の学生生活の中で軸や指針となるようなものだと感じたので、大切にしていきたいと思います。

【3】別所温泉 かしわや本店

● 立教大学2年 上田裕太

今回のインターンを通じて強く感じる事ができたのは、近隣の旅館同士のつながりや、旅館と地域のかかわりについてです。今回、地域のイベントに参加して、旅館の方々が、地域の人々に愛されているのだなと感じました。旅館の若旦那たちが地域を盛り上げていこうとしている様子を見て、若旦那たちの熱い思いを感じました。また、夜には打ち上げに参加し、若旦那たちのエネルギッシュな様子がわかりました。さすが若旦那、周りの人たちを楽しませるのがうまいなと思いました。また、地域の方々の交流についても知ることができました。このように旅館は地域に愛されながら、歴史を積み重ねていくのだなと感じました。旅館が地域においてどのような役割を担っていくべきなのかについても考えることができました。別所温泉には多くの旅館がありますが、そのどれもが素晴らしく、また、若旦那たちの連携が素晴らしいなと思いました。また、同時に旅館の新規参入の難しさも感じました。日々の授業では学べないような現場ならではの雰囲気を感じ取ることができました。また、現地のインターン生と意見交流会、討論会ができたことにより、さらに観光への理解を深めることができたように感じます。着地型商品研究を通じて、地域の魅力も実体験として感じ取ることができてよかったです。宿泊プランの作成を通じて、若旦那の旅館に対するビジョン、経営理念、熱い思いも知ることができました。また、旅館の料金形態も知ることができたのでよかったです。高級旅館と呼ばれる旅館とはどのようなところなのかを実際にお風呂に入ったり、部屋に泊まることでひしひしと感じることができました。若旦那の苦勞も感じとれたインターンでした。今後このような機会があればどんどん参加していきたいと思います。

● 文教大学2年 中村友紀子

今回のインターンシップは2泊3日という短い期間でしたが、非常に多くのことを学ぶことができたと思います。今回の研修のキーワードは「地域との関わり」。私たちの研修と同じ期間に別所温泉の旅館組合にインターンに来ていた大学生がいたため、その方達と一緒に「観光地には何が必要か」ということについて討論をし、それぞれの立場に立って意見交換をしました。「観光地には何が必要か」という議題ですが、必要だと思うものを各自書き出し、ハード⇄ソフト、お金がかかる⇄お金がかからない、という2つの軸を基準にして皆の意見を一つにまとめました。すると「宿泊施設」「標識」「飲食店」などのハードなものが全体の意見のほとんどで、ソフトでお金のかからないエリアに入る意見がほとんど上がりませんでした。それはまだ自分たちが「お客様」の視点で観光を見ているからであり、もっと広い視野で物事を見るのが成功の鍵だと旅館組合の方にアドバイスをいただきました。

またインターンシップの期間中にミュージックギャラリーという短期間の音楽イベントをやっており、それのお手伝いを通してお客様や地域の方々と交流することができました。このイベントからは、個々の旅館の質やサービスで近隣の旅館と競うのではなく地域一体となって温泉街を盛り上げ、その温泉街のブランドの質を上げるためには時にはライバルである近隣の旅館とも手を結ぶことが大切だということ学びました。他にもマレットゴルフの体験を通して着地型商品について学んだり、コラボ食堂という地域に密着した飲食店の見学をしたりと、地域との関連性について学ぶことができたと思います。

私たちの研修先の旅館、かしわや本店は長野県の別所温泉にあり、私の出身が長野県ということもあって「どのように地域と関わっているのか」ということについてとても興味がありました。実際に現場の裏側を見ることによって、地域と温泉街、住民と経営者の関係性を知ることができました。今回学んだことを今後の学業に活かしていくとともに、プラン作成に盛り込んでいきたいと思っています。

● 東海大学2年 松浦郁美

今回インターンシップに実際参加してみて思ったことがいくつかありました。私は旅館というものは宿ごとでそれぞれ経営をしていて、外部とは関係を持たないと思っていたが、地域のつながりがあることが感じた。私が今回参加した長野県の別所温泉はこぢんまりとした小さな温泉街で若旦那同士も地域の人ともとてもいい交流関係があるようだった。今回メインでお手伝いをさせていただいたミュージックギャラリーという別所温泉にたくさんのアーティストを呼んで地域のお菓子やワインの試飲を行うイベントがあり、若旦那たちが率先して動いていて、地域の人も別所温泉に観光に来た人も楽しんでいた。このように旅館の方々が中心となって地域を動かし、盛り上げている感じが実際にインターンシップを通して一番伝わってきたことであるかなと感じました。

プラン作成にあたって若旦那と話をしながら考えた時にはいろいろなお話を聞きました。たくさんの方が買って売れるものを考えるより、そこの旅館を利用してくださるお客様が喜んでくれるプランを作成するのがいいのではないかと考えました。しかし、そのようなプランを作るには旅館に泊まりに来てくれるお客様のことをわかっていないと本当に売れるプランを作るのは難しいなと思いました。旅館はホテルと違って割と至れり尽くせりな部分も多いし、自ら車を出してお客様を迎えに行ったり、従業員の管理や教育もしなくてはならない中でインターンシップ中私たちの面倒を見てくださりつつ、若旦那は常にお客様のことを考え動き回っていて素敵だなと思いました。

今回はあまり旅館内での業務はなかったので、旅館での接客を学ぶというよりは地域との関わりなどというまちづくり面をすごく学びました。現地の大学のインターンシップ生と共同で何かをすることも多かったし、とても貴重な経験になりました。若

者の旅行離れが進んでいる中、なかなか旅館に泊まる機会がないと思いますが、私を含め自ら旅館に泊まって旅館の良さも肌で感じる人が増えればいいなとも思いました。

【4】 溪谷別庭 もちの木

● 帝京大学3年 成澤真依

私が役員をやるきっかけになったのがこのプロジェクトであったので、担当者として参加でき良かったと思います。また色々と至らない点があり、プロジェクト参加者や関係者の皆様にはご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。無事にこのプロジェクトが終えられたのも皆様のご協力あつてのことでした。ありがとうございました。また、来年度も行えるよう次年度へと引き継ぎたいと思っています。

私事ではありますが、私は幼いころ毎年行っていた旅館が好きであったことと木造の日本ならではの建造物が好きなため、旅館に就職したいと考えています。しかしながら、宿泊業における旅館は、外資系のホテルの参入と従業員の高齢化により薄れています。そんな中、旅館業を盛り上げようと旅館業ならではの発想で地域との関係の根強さを活かし盛り上げているのが今の旅館業です。

また、プロジェクトの最終目標は、もちろんプラン作成ではありますが、旅館業というものを多くの学生に知っていただき、活性化に繋げることも担当者としては考えていたので参加者には今後の将来の指針の一つとして欲しいと思っています。

今回、私自身も初参加であったのですが、将来旅館の仲居になりたいと、正直憧れの部分が多くあった為、もちの木様では一部の業務体験ではありますが、繁忙期中、周辺地域の観光地への案内や業務に関しては大変丁寧にご指導をいただき深く感謝いたしております。旅館業というものや人としての在り方を実際に体験ができ良かったと思うのと同時にますます仲居さんとして将来の職にしたいと思うようになりました。

プラン作成に関しては、全員がプロジェクト初参加でプラン作成にとっても苦労しました。まず、もちの木様の魅力をどのように伝えるか、どうやったら伝わるのか…。また、ターゲットになりきることが出来ず周囲の人に質問などを行ったりもしました。

実際に足を運んだからこそ、もちの木様の良さを知っていてその良さをいかに皆様に伝えられるか。プラン内容は、私たちが考えた末、完成したものです。ぜひ皆様にも、もちの木様へと足を運ばれることをお勧めします。

● 帝京平成大学2年 岡田瑛美

今回の若旦那・若女将密着体験プロジェクトに参加して、普段の利用する側からではわからない旅館業の裏側を学ばせていただきました。なかなかできない貴重な体験をたくさんさせていただき、とても良い経験になったと思います。

事前勉強会では普段大学で学んでいることとは違うリアルなお話を聞くことができ、とてもためになりました。このようなプロジェクトに参加したのは今回が初めてだったので、若旦那たちの熱い思いを聞いて衝撃を受けたのと同時に更に意識が高まりました。

2泊3日での体験は驚きと発見の連続でした。旅館周辺の観光地や館内の案内、同じグループの施設を見学させていただいたことは、プラン作成をするときにも役立ちとても良かったです。実際に見学させていただいたことで魅力や強みを見つけることができました。

旅館業のお仕事は自分が想像していたよりもはるかに体力が必要で、なおかつ時間との勝負ということに驚きました。お布団敷き・お布団上げや客室清掃では汗ばむほどでした。朝食準備・片づけのときにお客様に「ごちそうさまでした。美味しかったです。」と声をかけていただいたときは本当に嬉しく、ほんの少しでもお客様の笑顔に関われたことに喜びを感じました。一緒にお仕事をさせていただき一番感じたことは、仲居さんたちの仕事の速さや一人が受け持つ仕事の種類の多さで、ただただ驚くばかりでした。二部式を着させていただき、お出迎えを体験させていただいたことはとても嬉しかったです。仲居さんの「お客様を待つ時間もお仕事ですから」という言葉は、私が今までに考えたことがなかったことだったためとても印象深く残っています。

プラン作成ではなかなか思うようにはいかず、その難しさや大変さを実感させられました。

短い期間でありましたが、その分内容の濃い充実した体験プロジェクトでした。自分が想像していた以上に得たものが多く、参加して本当に良かったです。

● 帝京平成大学1年 馬渡愛子

私は今回、千葉の方にある溪谷別庭 もちの木様の方で二泊三日旅館の女将体験をさせていただきました。私がまず旅館に到着し最初に感じたことは、千葉に私は住んでいますが千葉だとは思えないほど自然にあふれていて都会とは違い、なんだか時間が少しずつ過ぎていっているように感じました。旅館の周りには木が囲んでおり、すぐわきには川が、少し歩くと滝が流れていました。そんな自然あふれるもちの木様のところで様々な事を教えていただきました。

まず、一日目は宿泊しているお客様の布団敷きをさせていただきました。布団敷きは、細かいとこまで気を使い綺麗にプラスてきぱき早くを心掛けていて、それを何部屋もやるとなると意外と体力を使い大変でした。休憩の時には、「おもてなしの心」のビデオを見せてくれました。旅館についての内容や食事の時のマナーについての内容で初めて知る事がたくさんありとても勉強になりました。

二日目は、朝食の後片付けから行いました。私は食器洗いをしましたが、どんなに急いで洗っていても食器は増える一方で洗うのに必死でした。そのあとは、客室の清掃を行いました。布団を上げ部屋を片付けお湯・冷水のセットをしました。それが終わると女将さんがわざわざ私たちの部屋に来てくださり、三人分の二部式を着せてくれました。二部式を着ると自然と姿勢がよくなり歩き方にも気を使いました。二部式を着、お客様のお出迎えをしました。旅館の方の隣で一緒に五組ほどのお客様の荷物を部屋まで運びました。その時、お客様から「ありがとうございます」と笑顔で言われて凄く嬉しかったです。初めて旅館に来てお客様と接することができて、やはり人に感謝される仕事はいいなと思いました。

三日目は、二日目とほぼ同じ事を行い前日より内容は分かっていたのできぱき働くことができました。旅館は本当に朝から大忙しでしたが、二泊三日とても貴重な体験をすることができました。

【5】日本四大美人の湯 源美の宿 会津屋

● 明海大学3年 小嶋みなみ

私がこのプロジェクトに参加したのは二つの理由がありました。一つはホテルと旅館のサービスの違いを知ること。もう一つは日本らしいおもてなしの姿を旅館から学ぶことです。今回実際に3日間の業務をしてみてまず感じたのは、仲居さんが予想以上に様々な仕事を兼務しているということでした。私が働いたことのあるホテルでは細かく部署が分かれており、部署を超えた仕事はやることがなかったので、これはホテルと旅館との大きな違いだと感じました。そしてこの体制は一見仲居さんが忙しすぎるのではないかと思いましたが、一人のお客様に様々な仕事に関わることが出来るため、ホテルよりも深くお客様とのつながりが持てると思いました。次に、どこかホッとする会津屋の雰囲気から日本のおもてなしを感じるすることができました。これは和の客室などハード面からだけでなく、仲居さんたちのすんなり会話を広げる巧みな話術から強く感じ、お迎えをした時点から家のように安心できる空気をつくっていることを学びました。

また、旅館のプラン作成では、実務と同じくらい貴重な経験をさせていただけたと感じています。なぜかというところまで時間をかけて、このような責任のあるプランを企画したことが今までになかったからです。若旦那の芳賀さんとの話し合いで上がった会津屋に対する想いを理解して、かつメンバーの理想のプランを練ることはとても時間がかかり、大変な作業でした。しかし、ターゲット像を決め、実現できることを考え、言い回しや伝え方を工夫する過程でどんどん良いアイデアが生まれ、最終的にプラン作りに面白さを感じるすることができました。

こんな経験ができるのは事前勉強会・実務体験・プラン作成が一つになったこのプロジェクトだけだと思います。旅館の大変さや面白さ、そして経営の部分にまで触れ

ることができ、とても有意義な夏休みになりました。全旅連の皆様、学観連の皆様ありがとうございました。

● 明海大学3年 加賀谷麻衣

今回、インターンシップに参加するにあたり、事前に調べた会津屋さんのホスピタリティは高評価されていたので私がその中に入ってもいいのだろうかという不安の気持ちがありました。しかし実際に行ってみるとカチカチの接客ではなく気さくで笑顔あふれるものでした。それは仕事の合間にも垣間見られたので普段から仲が良いのだと確信しました。従業員同士の仲の良さ悪さは接客の雰囲気に出るので、お客様もそれを感じ取れるのだと思います。仲居さんの制服を貸していただき、着させてもらおうと一気に身が引き締まりました。「いらっしやいませ。お疲れ様でございました。」と笑顔で声をかけると笑顔でその日の訪れた場所などを話されるお客様もいて私も思わず聞き入ってしまいました。客室へ向かうため荷物を持ち、ついて行くと洞窟風呂の説明で必ずお客様は「これか」と反応していたり、美肌美人の湯の説明の時は女性のお客様が必ず笑顔になり、「絶対にいかなきゃ」とおっしゃっている様子を伺うと、この旅館を選んで来ていただいているのだと思い、仲居さん体験させていただいている私までとてもうれしくなりました。あるお客様には「初々しいわね。頑張って」と声をかけていただいたことも印象に残っています。私の中では夕食の説明が一番難しく思えました。食前酒、先付け、前菜、お造りがどうしてもつまってしまってお客様の前で説明するのが恥ずかしくなってしまいました。しかし、最初に教えていただいた言葉で「失敗してやらないなら最初からやらない方がいい。でも失敗して一人前になる」という言葉が心に響きました。二日目、旅館の朝は早く、思っていたよりもはるかに早くから仕込んでいました。しかし朝一でも笑顔は必須です。お見送りの時間で、あるお客様に「少し緊張気味かなとは思ったけれど接客も良かったし、全然インターン生とは気づかなかった。」と言ってくださいました。そして「ありがとう」と私の方が負けてしまいそうな笑顔で車から手を振っていただいた時は、お客様と向き合う仕事のやりがいのようなものをこのインターンで出会ったお客様のことも含めて改めて感じました。この日の夕食の説明は自分でも不思議なくらい気持ちに余裕が出て、難しいと思っていた説明がスムーズにできるようになりました。せっかくできるようになった説明もこの日で最後だったのですごく名残惜しい気持ちでした。三日間の体験でしたが、知らなかった旅館の裏側を見て聞いて動いて知ることができ、貴重な体験となりました。本当は私たちのまだ知らない深く難しい世界があると思います。その中で私たちを受け入れていただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。

● 帝京大学1年 山田くるみ

私はいつか観光に携わる仕事に就きたいと幼い頃から漠然とっていて大学も観光経営という学科を選択しました。そこで入学直前に日本学生観光連盟を知り、この団体に入って今回初めて「若旦那・若女将密着体験プロジェクト」に参加しました。元々航空業界や宿泊業界に興味を持っていたので、旅館でのインターシップは貴重な経験だと思いました。しかし、実際に3日間体験してみて思っていたよりずっと忙しく体力を使うことも多く、とても驚きました。

初日は宿に到着して女将さんから説明を受けた後すぐにお客様のお出迎えがありました。その日はたまたま到着時間よりも大幅に遅れるお客様が多くいて、短時間の間に来られたので、客室とロビーの往復が大変でした。お客様が全員到着された後は食事処での夕食準備です。食事に関する仕事がこの3日間でもとても難しかったです。

まず懐石料理を食べたことがなかったので、お皿の並べ方や料理を出す順番が全くわかりませんでした。さらに品数も多く、料理を出す際に料理名も言わなければならなかったり、飲み物などの注文が入ると間違わずにテーブルに届けることも常に緊張していました。お客様が食事を終えた後は片付けや翌朝の朝食の準備がありました。1日目の仕事はこれで終わりでした。

2日目は7時集合だったので朝が苦手な私にとってはとてもつらかったです。

朝食の準備は夕食に比べたら楽でした。その後はお客様のお見送りをして、それが終わると3人で分かれて客室清掃をしました。従業員の方が枕やシーツを回収したり掃除機をかけるので、私たちは雑巾がけをしたり客室の備品を整える仕事がほとんどでした。普段客としてホテルや旅館に泊まるときはあまり気にしなかったけれど、上座と下座のことやリモコンの置き場一つでも細かく決まっていた、とても驚きました。けれど、そのような些細なことでも怠るとお客様に対して失礼なのだとということを実感しました。客室清掃が終わったら数時間休憩がありましたが、夕方からお客様のお出迎えでした。2日目の夕食の準備は2回目だったので前日より慣れましたが、この日は連泊のお客様が何組かいたため他のお客様とメニューが異なっていたので多少焦りもありました。食事のときはバタバタしていてあっという間に時間が過ぎていた気がします。夜は温泉にも入りました。美肌美人の湯が売りということで3種類全ての温泉に入りました。温泉に入る機会は滅多にないので3カ所も回ってさらに1人で貸し切り状態だったのでとても贅沢な気分でした。

今回この企画に参加するまでは宿泊業といってもホテルのことしか考えていなかったもので旅館の業務を体験できたことは自分にとってとてもよい経験になりました。この貴重な経験を今後の就職活動で生かしていければよいと思います。

【6】筑波山江戸屋

- 横浜商科大学3年 大垣拓也

私は最初、江戸屋と聞いてどこに有るか分かりませんでした。ですが、筑波山神社のすぐ近くと聞いて分かりました。実際に行ってみると、駅から近いのに筑波山という自然の中にあり、部屋数も多く、とても大きな旅館でした。ラウンジもとても雰囲気良く、リラックスできる雰囲気がありました。初日には若旦那の方、女将さん、のお二人との挨拶を交わし、到着後すぐにお仕事をやらせて頂きました。最初にやらせて頂いたのは宴会場の掃除でした。これがとても大変で、広い部屋を本来は1人で掃除していると考えれば旅館業の大変さと言うものを、身にしみて実感する事が出来ました。終わったあとに、掃除や夕食の準備、ふとん敷き、皿洗いをやらせて頂きましたが、一番堪えたのはふとん敷きと皿洗いです。ふとん敷きは、思っていたよりも重労働で、ずっと腰を落としてやっていると確実に腰を壊しますし、早く敷いて行かないとお客様がいつの間にか来てしまいますので、時間との勝負です。皿洗いは一人でとても多い数のお皿を洗っていると知ったときにはとても驚きました。旅館という所は様々な役割分担を多くの人たちでこなして出来ているという事を、実感できました。ですが、この布団敷きをしている担当の方も、皿洗いを担当している方も、その仕事のやり方を自分で考え、お客様の喜ぶように夜景が見えやすいよう部屋の電気を消していたり、一人一人が自分のやり方を見いだしているという点が、この江戸屋の素晴らしい所だと感じました。マニュアルにはない、自分だけの接客、もしくはおもてなしといった事が、ここでは普通に行われているのだと、実感しました。

そして、二日目の午後のお祭りではねぶたの曳手といった滅多に体験できない事を実際に体験できました。つくばのお祭りはとても大勢の方がいてそこに祭りをやる側として参加できたのにはとても意味のある時間であると感じました。総じて、この三日間はとても実りある密の詰まった三日間であったと思います。是非今度は、お客さんとして、楽しむ側として江戸屋に宿泊してみたいと思いました。

● 帝京平成大学1年 津田杏子

山奥にある大きな宿で、入り口の左側には豊富に土産が取り揃えてあり、右側の部屋には天皇皇后の来館されたときのお写真や書物、がまの油の資料など歴史を感じられる物があって、普段にはない宿の雰囲気に満ち溢れていました。予定が綿密に組まれていて、充実していました。

初日は客室の清掃で、畳目通りに掃除機をかけ隅々まで綺麗にしました。そのあとは夕食の助番で遊仙亭の担当でした。皿を調理場から集め並べていきました。ただ置くのではなく、皿も向きがあり慣れているとしこさんや山崎さんやありさんは早かったです。居酒屋のアルバイトをしているので、役立つ部分もありました。片付け、掃除までして夕食の助番が終了しました。皆さん夜遅くまで、良い料理を提供するために働き続けていました。

二日目は、朝食の助番から始まりました。朝5時から作り始め7時には並べ終えてお客様をお迎えしてご飯や味噌汁は温かいものを出したり、食べ終わったら片付け掃除

してから従業員さんの朝食の時間でした。朝食の皿の配置も団体と個人では位置が少し違ったり、十字を切るように置くなど複雑で難しかったです。

15時半ごろ、つくばまつりに向けて出発して、地元の高校生と一緒にねぶたを引かせてもらいました。茨城県民だったとしてもきっと出来ない経験をさせてもらいました。独特の衣装が個性豊かでそれを着た若旦那がとても素敵でした。私たちはお祭りのシャツを頂きました。茨城の方達と同じ雰囲気です。祭りに参加できて嬉しかったです。夜はプラン作成の注意点などのお話を聞かせて頂きました。

三日目は、前日同様に朝食の助番をして仕事終了でした。二泊三日と、とても短い期間でしたが、一から教えて頂いて宿の裏側を知り、おもてなしの心も学びました。宿の皆さんとても仲がよくてアットホームな中に受け入れて頂いて楽しく仕事が出来ました。本当によくして頂いてありがとうございます。茨城県大好きです。

● 帝京平成大学1年 高橋絵里

今回私が行った筑波山江戸屋は、自然に囲まれたとても穏やかな雰囲気の旅館でした。旅館に着き、旅館の方たちに挨拶をし、最初にした事は、部屋の清掃でした。細かい所まではいたり拭いたりを繰り返し、教えてくれた方も、お客様が気持ち良く過ごせるようにと常におっしゃっていて、まさにおもてなしの心だなと思いました。この日は夕食の助番もしました。私は団体のお客様の夕食の手伝いをし、準備はお客様が会場に来る2時間前から皿を出し始めていて、準備の早さに驚きました。やはり配膳の仕方もきちんと決まっていて仲居さんが丁寧に教えてくれました。1番印象に残っているのは、お客様の中にお誕生日の女の子がいて、サプライズでお祝いをしたことです。ロウソクをたてたフルーツを持っていき、皆でお祝いすると女の子はとても嬉しそうで、見ていた自分も自然と笑顔になり、このようにアットホームな雰囲気も江戸屋さんの魅力なのだと感じました。夕食の片付けも、同じ食器を集めるだけなのですが、どれから手を付けて良いかわからないくらいの数があり、大変な作業でした。

次の日は朝食の助番をしました。器にお漬物をのせる作業から始まりバランスよく全部の器に乗せるのが難しかったです。朝食の会場は夜とはまた違って静かで穏やかな雰囲気でした。さらにこの日の夕方は、若旦那がつくばのお祭りに連れて行ってくれました。会場につくと青森で有名なねぶたがあり、なんと地元の学生と一緒にねぶたをひくことができました。滅多に無い貴重な行事に参加することができて良かったです。

最終日も朝食の助番をし、お昼までの時間にお風呂やトイレの清掃など、3日間で沢山の体験をさせていただきました。自分が今まで見ていた旅館の仕事を体験することができ、裏側の仕事の大変さも知ることができ、とても勉強になりました。今回の経験で旅館に対する考え方も変わり、旅館という職業が身近に感じられました。

【7】大自然の静寂と天然自噴温泉を愉しむ湯宿 亀山温泉ホテル

● 立教大学2年 大川周良

私はこの若旦那・若女将密着体験プロジェクトに参加するのは今回で2回目ですが、前回は一般の会員として、今回はプロジェクト担当者として参加させていただき、また違った旅館の魅力を発見することができました。

旅館に到着後、すぐに若旦那とのミーティングをさせて頂き、若旦那直筆の紹介シートをいただき、私たちも自分の紹介シートを書かせていただきました。若旦那が私たちのことや何を学ぶインターンシップにしたいのかということをととても親身に考えてくださっているということがすぐにわかりました。また、お客様のお出迎えやお見送りの合間に旅館のことに於いてやおもてなし、お客様にどのように接したら気持ちが伝わるのかなど、たくさんのお話と実際に手本を見せながら教えて頂いたことで、すぐに仕事方法を覚えることができました。

特にこのインターンシップで学んだ印象に残っていることは、お客様のことをよく「知る」ということです。お客様を部屋へのご案内する際に、今日はどちらに行かれて、明日はどちらに行くのですか、などお客様の行動や経緯を把握することで先のことを考えたおもてなしが出来るのだと学びました。とりわけ、首都圏からの小さいお子様を連れた家族の多い亀山温泉ホテルさんでは、お子様の名前をおぼえるなどして、よりそのご家族に寄り添ったおもてなしができることについても大変勉強になりました。子供に対する思いやりや喜ばせることが若旦那の情熱の一つであり、亀山温泉ホテルを動かす原動力の一つなのだと言ったことが実感されました。

宿泊プランの作成では自分がプロジェクト担当ということもあり、先にある程度のターゲットは定めておいたのですが、若旦那の考えるターゲット像を伺った際に全くと言ってよいほど同じであったことが何よりもほっとする瞬間でした。

私は将来、地元の県や市町村に戻り、公務員として何らかの形で観光に携わりたいと考えています。このプラン作成から学んだこととして、お客様はその旅館やホテルに何を求めて選ぶのか、自らに何が求められているのかということを理解することから始まるのだということです。これは将来、自分の地域を考えた際に、どういったことが自らの土地に求められて、何を提供しなければならないのかということに関して応用できると思えました。強みを活かすことが求められるのだと学びました。

ここには書ききれぬほどの知恵や体験を3日間という短い間でしたが、たくさん得ることができました。

● 東海大学2年 米山亜樹穂

私は将来地域の観光課に携わった仕事がしたいと考えているところだったので、それと関連がありそうな旅館でのインターンシップという事で今年初めてこのプロジェクトに参加しました。初めて旅館を泊まる側からでなく、お客様を迎える側として見る機会を得て、様々な事を考えました。

私がお世話になった亀山温泉ホテルさんは本当にアットホームな旅館で、お客様との距離が近い接客だなと感じました。また若旦那のお子さんであるチビ旦那がロビーにいたり、子供用に絵本やおもちゃが用意されたりしているため訪れるお客様も子供連れが多く、子供がいても安心して過ごせるような環境が作られていました。今まで自分が旅館に泊まる時には「他にどのようなお客さんがいるか」という事をあまり考えていなかったし、ターゲットはどんな人たちかということも考えていなかったのも、インターンシップに参加してみて新たに視点が出来たと思います。

また亀山温泉ホテルさんでは地域の食材や物を活かしたお料理が出されており、それに加え若旦那の手書きのお品書きが用意されていて、こういうひと工夫がお客様の思い出になるのかなとも思いました。

地元の顔になるというモットーも持っている亀山温泉ホテルさんは、その為に地域との繋がりを大切にしているし、地域についてよく知っているから出来る事が多いなと感じました。

旅館ならではの地域に密着した取り組み、若旦那の熱意、ひと工夫の大切さは、いつもバイトしているホテルだけでは学べない事ばかりでした。また若旦那の話を聞いて、地元の活性化に関する仕事に就きたいなら、もっと地元の事を知らなきゃいけないなとも思いました。

3日間という短い間でしたが、本当にたくさんの事を考え、学べた3日間でした。

● 東海大学2年 高松桃子

今年のインターンでは昨年のインターン先とはどんなところが違うのかということが一番に学びたいと思っていた。地域活性についての話を多く伺ったが、旅館がなければ、そしてその旅館に人が集まらなければ地域の活性化は臨めないということを強くおっしゃっていたのが印象的だった。そして、旅館に人を集めるためにはその旅館だけの強みを持つことが重要であると知った。これは就活の際にもよく言われることであるのでこれから過ごしていく上で自分の強みを作り出し、胸を張って言えるようにしていくべきだと思う。お客様に寄り添い生の声を大切にし、素直に受け止めていくことで人の集まるよりよい旅館になっていくと思う。亀山温泉ホテルさんは温泉や客室に関するアンケートを宿泊者の方に配り、生の声を得ていた。その一部を見せていただいたが、ただ「楽しかった」と書いてあるより、「〇〇だから楽しかった」と理由も書いてある方がわかりやすいし、嬉しい。悪い点も同様だ。すべて手書きのアンケートを作成、かわいいイラストを加えるなどお客様（子供も含めて）が理由までしっかり書きたくなるようなアンケート作りをすることも大切であると知った。先ほど、

自分だけの強みを持つことが重要であるということを書いたが、それも自分が思っているだけでは無意味で、お客様にも伝わっていないなければならない。アンケートは自分の強みがちゃんと強みとして伝わっているかを知ることができるひとつのツールでもあると思う。温泉も強みとして挙げられていたが、特に亀山温泉ホテルが人気の理由はひとえに若旦那の作るアットホームな雰囲気とチビ旦那の同年代の子たちに対しての遊び方、接し方によるものだと思う。チビ旦那がロビーにいてることでまるで我が家に帰ってきたかのような気持ちになることができると思う。今回のインターンは二泊三日と短い期間だったが、昨年より地域活性についても学ぶことができてよかった。

【8】名栗温泉 大松閣

● 桜美林大学3年 寺内美里

3日間を通し、「大松閣が大好きな場所になった」というのが最大の感想である。まず、1番印象的だったのは旅館の方々がとても暖かかったということだ。私にとって旅館でのインターンシップは初めてであり、楽しみである反面自身のホテルでのアルバイト経験から、宿泊業は華やかなイメージに対して実際の業務は修羅場という印象があり、緊張や不安の方が大きかった。しかし、大松閣では忙しいにも関わらず快く迎え入れてくださり、若旦那と若女将は私たちの希望に沿った研修になるようにと配慮してくださったり、従業員の方々も仕事の一つ一つを丁寧に教えてくださったりと、とてもよくしていただいた。大松閣の方々の暖かい雰囲気が旅館全体の雰囲気となって伝わり、大松閣ならではのゆったりとした心地よい空気感を生み出しているのではないと思う。

また、若旦那と若女将からお話を伺う機会も多く、大松閣に対する熱い想いを伺えた。中でも、訪れる人にとってふるさとのような場所にしたいという若旦那の想いが印象的だった。自分には将来地元でお店を開きたいという目標があり、ちょうどそのお店のコンセプトに通じるものがあったためより一層その夢を現実にしたいと強く思うことが出来た。

3日間を通して短いながらも大変充実した内容の濃い時間を過ごせたと思う。私はインターンシップ前、宿泊業に対して自分は向いてないのではないかという不安を持っていた。そのため、旅館業とはいったいどのようなものなのか、旅館業の実態を知り今後の進路の参考にしたいと考えての参加だった。

結果として向いているかどうかの決着はついてはいない。しかし、向き不向きはともかくとして大松閣のように自分が大好きになれる場所で、真心を込めて生き生きと働くことができればそれはとても幸せなことだと感じられた。自分もそのような仕事に就くことを目標にしてこれからの大学生活を過ごしていきたい。

● 明海大学3年 陶 正恵

私が体験した2泊3日のインターンシップはとても貴重な体験になった。自分が思っていた旅館とは違った所があったが、旅館の在り方について理解が深まった気がする。びっくりしたことや感動したことの連続だった毎日であった。まず、従業員1人1人がとても優しくて温かい人達であったこと。生き生きと働いていてこっちまで楽しい気持ちになった。お客様と接する以前に“自分が楽しい気持ちになっているか”ということが大切だと分かった。自分がそういう気持ちであればお客様を楽しませることも出来るし、見ている相手も自然と笑顔になる。そうやって自分のモチベーションを高められる仕事に就きたいと思った。

次に、旅館にはその接客の仕方があるということ。私は普段、アルバイトで受け付けをやっているが、フロント業務を経験した時に全く違うなと感じた。私のアルバイトは機敏性と効率性を求めるが、旅館には合っていないことが分かった。あくまでも癒しやゆっくりしたい、という方が多いわけと言葉遣いや仕草も含めて、ホテルとは全く違うということに、従業員を見ていて感じた。次に、お客様1人1人に合った接客が必要だということ。お部屋で食事をしたい人も居れば、大広間でしたい人も居る。布団を敷いてほしい時間もバラバラ。いかにお客様のことを理解し、観察して行動するかが問われると思った。全員が全員にウェルカムドリンクをサービスするのではないということには驚かされた。チェックインの時間や客層を見て相手の気持ちを理解するということが大切だと分かった。相手の立場にたって、どうしてほしいのかを考える。その気持ちを察してもらった時に感動が生まれ、また来たいな、と思ってくれる。そんな接客があるから、大松閣にリピーターが多いのかもしれない。

この2泊3日間という短い時間の中で、様々な部署を経験させてくれて、私たちと対等に接してくれた大松閣の方に感謝の気持ちでいっぱいだ。この経験をアルバイトに生かし、旅館の素晴らしさを広めていきたいと感じた。

5 総括

本共同プロジェクトは、全旅連青年部の方々の全面的なご協力のもと、今年度で第3回目を開催させていただくことができました。この報告書は前回の反省点をどのように改善し、今回の改善点を同プロジェクトの今後活かすため、作成させていただきました。また本プロジェクトに参加した学生の軌跡を未来永劫に伝え、多くの方々に学観連の活動を知っていただき、積極的に参加する学生を増やすことも作成した一つの理由です。

開催回数を重ねるごとに、より前年度以上に中身の濃いインターンシップとなることが求められています。プロジェクト担当としても、より参加学生にとって、充実したプロジェクトとなるよう、全旅連青年部の皆様、実習先の若旦那様には様々な要望

にお応えいただきました。今年度は事前説明・勉強会、インターンシップ、事後報告・意見交換会とプロジェクトを3つに段階づけて実施していただいたことで、参加学生にとっては、旅館業についてより深く理解することができたのではないかと思います。また、広範囲の旅館にご参加いただきましたことで、参加学生はより多種多様な形態の旅館で、その旅館ごとのおもてなしの形や強みを学ぶことができたのではないかと思います。これは宿泊プラン作成にも反映され、ターゲットの絞り込みなどにより各旅館の強みを活かしたプランが出来上がったのではないかと思います。さらに今年度は事後報告会をインターンシップ終了後に期日を空けて、設けて頂きましたことも、より考え抜かれた宿泊プラン案作成につながったのではないかと考えられます。

このように昨年度の反省を活かし、改善できた点も増えてきましたが、今年度のプロジェクトで新たに見つかった改善点もありました。具体的には、以下のアンケート集計結果からもわかるように、事前説明・勉強会、事後報告・意見交換会を設けて頂いたにも関わらず、日程調整や会場確定に時間がかかってしまい、参加学生への連絡が遅くなるなどの反省点が浮き彫りになりました。今後は全旅連青年部の皆様との連携強化を念頭に置き、プロジェクトの全体日程を早期に確定できる体制を築いていきたいと思っております。日本独自の「旅館業」という職業に少しでも興味を持ってもらい、観光の発展の一助となることが、学観連に求められる任務の一つであると思っております。そのためにも全旅連青年部の皆様との連絡を今後も密に行い、より良いプロジェクトの成功を目指していききたいと思います。

【謝辞】

本共同プロジェクトによるインターンシップの実施にあたり、お世話になりました全旅連青年部の皆様、各受け入れ旅館の若旦那様や従業員の皆様、地域の方々、事前説明・勉強会にてご講演をいただきました、株式会社オブリージュ 村橋様に、深く感謝申し上げます。今後とも、日本学生観光連盟を宜しくお願い致します。

第3回若旦那・若女将密着体験プロジェクト
プロジェクトリーダー 大川周良

6 参考資料 参加者アンケート回答掲載

1. アンケート実施概要

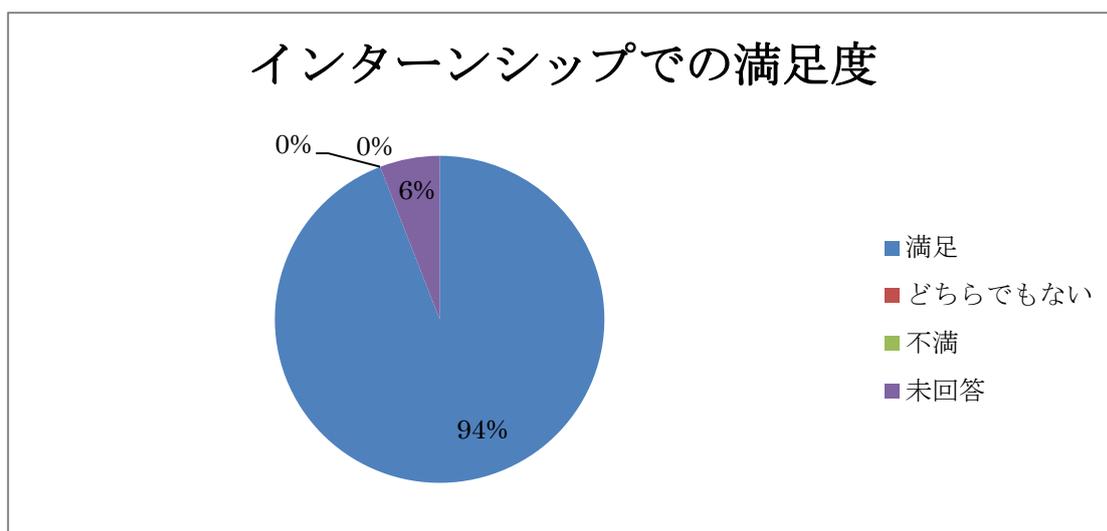
参加学生の男女比 男性5名(21%) 女性19名(79%) 計24名
参加学生の学年比 1年生7名(29%) 2年生9名(38%) 3年生8名(33%)
アンケート実施対象者：参加学生22名(プロジェクト担当2名を除く)
アンケート実施期間：本プロジェクト事後報告・意見交換会終了後
アンケート回答者数：17名(男4名/女13名)

- 1年生 6名 (男1名/女5名)
- 2年生 7名 (男2名/女5名)
- 3年生 4名 (男1名/女3名)

今年度の参加学生男女比は、昨年度の 3:7 の割合と比べ、2:8 の割合でさらに男性参加学生が少ない結果となった。これは観光を学ぶ学生の多くが女性であることから、学観連会員の男女比にも反映され、今回のような比率になったと考えられるが、今後は男女比の偏りを少しでも縮められるよう、参加学生を募る方法を検討しなければならない。

また、学年比では昨年度は1年生の参加が半数を占めていたが、今年度は2年生の参加が約4割を占め、3年生の参加も増加する結果となった。これは旅館を就職先に考える参加学生が徐々に増えている傾向にある。

2. インターンシップでの満足度について



今年度のインターンシップに参加しての満足度については、9割の参加学生が「満足」と回答した。残りの1割に関してもどちらでもない、不満という回答はなかったため、非常に満足度の高い結果となった。具体的に満足した点としては、

「研修先の旅館の選択肢がたくさんあってよかった」

「ただ旅館にインターンシップをして旅館の仕事を学ぶだけではなく、観光産業について様々な視点から学ぶことができた」

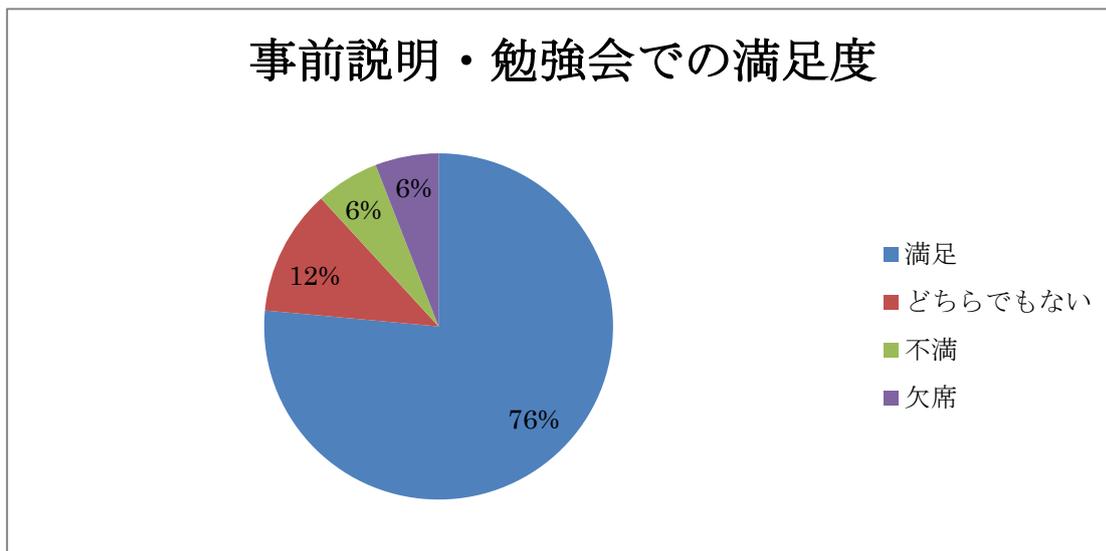
「利用者としてではわからない、旅館で働くことの大変さや面白さを知ることができた」

「実際に行ってみないと分からない事を自分の感覚で知ることができ、旅館業というものがどのようなものなのか、知れた」

などの回答が多くみられた。また、「いろいろな経験をさせてもらい自分の接客を見つめなおすことができた」といったように自分のアルバイト等の接客にこの経験を応用

するなど、参加者ごとに学び取ることは多様であることがわかった。全体を通して、旅館業がこういった職種であり、どのようなことをするのかを知る大きな機会となった。

3. 今年度からの事前説明・勉強会の実施について



事前説明・勉強会は、インターンシップ実施前に各旅館の若旦那からの宿の説明、プラン作成に関し学習することを通し、より参加学生に充実したインターンシップとなることを目的に今年度から実施された新たな取り組みである。また、この事前説明・勉強会はインターンシップに参加しない学生も参加ができ、旅館業を知るきっかけを作る良い機会となった。

上記のアンケート結果から約7割の参加学生が「満足」と回答している。

具体的な満足した点としては、

「普段(学校)では聞くことのできない旅館や若旦那の細かい話を聞くことができた」

「一日かけてプラン作成の仕方やそのポイントについてしっかり学ぶことができた」

「ここでプランの作成術を学べたことがのちの活動で大変役立ちました」

などの回答が多く得られた。

その一方で、「どちらでもない」、「不満」と回答した参加学生が約2割いることもしっかりと受け止めなければならない。その具体的な点としては、

「各旅館のお話を聞いてから行きたい旅館を選びたかった」

「旅館ごとに話していただく内容の統一をしていただきたいかった」などがあげられた。

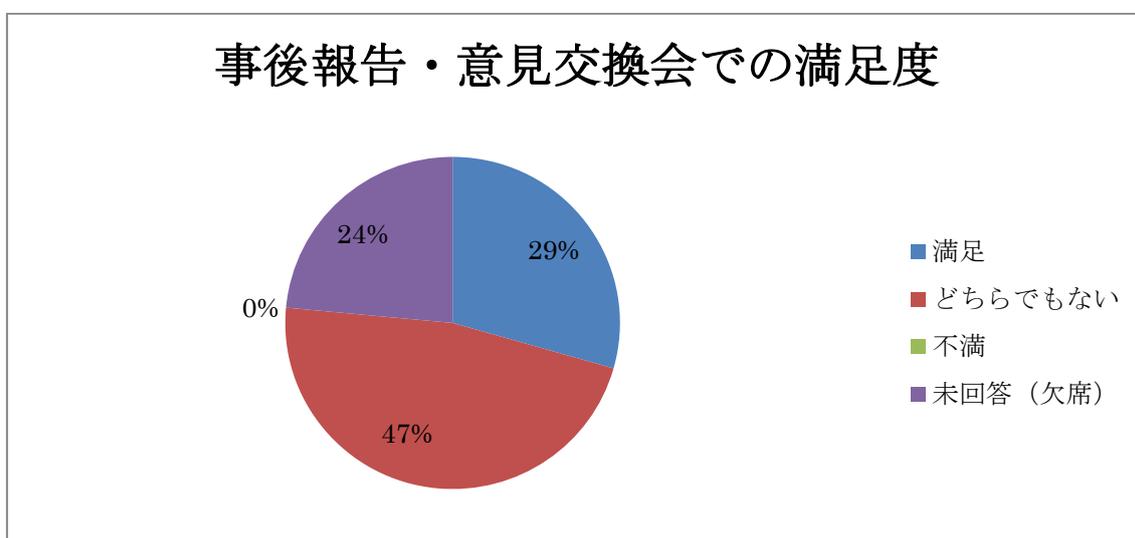
「インターンシップに行きたい旅館を事前説明・勉強会での若旦那の話を聞いてから選べるように」という要望に関しては、プロジェクト担当者と全旅連青年部様との連携をより密に行い、多忙な実習先の若旦那の方々の予定等を担当者も把握できる体制を築く必要がある。早期の段階から事前説明・勉強会の日程を確定できるよう努力

し、その後余裕を持って参加学生が実習に行きたい旅館を選べるようなプロジェクト体制の構築がこの反省点克服の突破口となる。

「旅館ごとに話していただく内容の統一」に関しては、プロジェクト担当者が事後報告・勉強会の参加を募る際に、同時に若旦那の方々にお聞きしたい内容をアンケートにより収集し、聞きたい内容をより具体化し、この内容を事前に全旅連青年部様にお知らせすることによりこの反省点は改善される。

今年度からの事前説明・勉強会の実施は約7割の満足が得られた点からも参加学生にとって大変重要なものとなっていることがいえる。しかし、この結果に満足することなく、あと2割、3割の参加学生をいかに「満足」にさせることができるかが、今後の課題である。

4. 今年度からの事後報告・意見交換会の実施について



事後報告・意見交換会は、各実習先での体験や最終目標の一つでもある宿泊プラン案の発表を行う場所として設けられている。今年度からは各旅館のコンセプト・強みを活かし、より考え抜かれた宿泊プラン案を発表できるよう、インターンシップ終了後一定期間を設け、実施された。また、意見交換会では全旅連青年部の方々、実習先の若旦那様、参加学生を交えて、実習を通して感じたことや旅館業へのイメージの変化などについて話し合う良い機会となった。

事後報告・意見交換会の満足度については、「満足」が約3割と他の項目に比較して満足度は高くなかった。「不満」との回答はなかったものの、「どちらでもない」との回答が約半数を占めていた。その主な理由としては、

「開催日時を土日の開催にさせていただきかかった」

「会場を参加しやすい場所にさせていただきかかった」

「日程がギリギリまではっきりしなかったため戸惑ってしまった」などがあげられた。

実際に行われた9月23日(月)は祝日ではあったものの、大学によっては後期授業開始日と重なる参加学生もいたため、今後は早期に実施日時を確定できるよう全旅連青

年部様、実習先の若旦那様、参加学生のそれぞれの日程把握をより強化し、参加しやすい日程とすることが今後の課題である。また、早期に日程の確定を行えば、会場の候補数も増やすことができる。

5. 来年度への参加・他の学生に勧めたいかについて

この項目に関しても参加学生の15名から「はい」の回答を得た。その理由の多くが「実際に旅館業という職場に行ってみないと体験できないことがたくさんあるから」「この体験を多くの後輩や他の学生に伝えたい」など実際の業務を通し、リアルな旅館を体験したからこそ、その体験を知らない多くの人に知ってもらいたいということがいえる。

また、「いいえ」と回答した2名の参加学生からは

「就職活動に重点を置きたいため来年度の参加は難しい」などの回答を得た。

5. 旅館へのイメージの変化について

この項目に関しては、参加学生の14名が参加前と参加後で旅館に対するイメージに変化があったと回答している。これは、各旅館での若旦那や従業員の方々との業務体験、地域での取り組みなどを通し、職場の雰囲気やチームワークの大切さなど、身を持って感じた結果だといえる。特に

「旅館はお客様を泊めるだけではなく、地域の魅力を発見し、地域と協力していくことも大きな役割なのだとことを知った」という感想も多くあり、密着型インターンシップだからこそその理解の深さによって、良いイメージへと変化した。

その一方で、イメージに変化がなかったとの回答には、

「地域活性や地域交流の実習がメインであったため、印象が変わるほど旅館を見ることができなかった」などがあげられた。今後はさらに学生が旅館や旅館業に対し、こういったイメージを持っているのかをより具体化していくことが重要であり、こういった実習を行えば、そのイメージの変化につながるのかを全旅連青年部様と学生間での連携を強化することが重要である。

この第3回若旦那・若女将密着体験プロジェクトは、参加学生の9割が「満足した」「また参加したい」と回答していることから、参加学生にとって実りあるインターンシップであったことを示しているだろう。その一方でこのプロジェクトへの期待は毎年開催回数を増やすごとに高まっていることも認識しておかなければならない。それらの期待に応えるためにも、今年度の良い点、反省点を今後活かしていかなければならない。

上記のアンケート結果を得ることができたのは、まぎれもなく全旅連青年部の皆様をはじめ、実習先の若旦那の皆様、各旅館の方々の多大なるご尽力の賜物であること、深く感謝申し上げます。

以上